

Saitama Association of Radiological Technologists

RADIOLOGICAL SAITAMA

2024
no.2



CONTENTS

総会資料

- 第13回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

技術解説

- 「新型一般撮影装置RADspeed Pro SR5 Version」
～カメラ機能搭載による新たな可能性～
- 「放射線診療における最新の被検者被ばく線量管理」
～DX (Digital Transformation) がもたらすもの～



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

Saitama Association of Radiological Technologists

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

RADIOLOGICAL SAITAMA

Saitama Association of Radiological Technologists

2024/5 May
vol.72 no. 2

CONTENTS

総会資料

第13回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定期総会

第13回公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会定期総会	8
2023年度事業報告(案)	9
2023年度(公社) 埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項	21
2024年度事業計画(案) タスクシフト・シェアの推進と組織率向上の施策	23
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款	25
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程	30
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図	40
2024年度収支予算書	42

技術解説

[新型一般撮影装置RADspeed Pro SR5 Version] ～カメラ機能搭載による新たな可能性～	50
[放射線診療における最新の被検者被ばく線量管理] ～DX(Digital Transformation)がもたらすもの～	54

巻頭言

連絡ツールの進化と世代間の価値観 常務理事 中根 淳	1
-------------------------------	---

コラム

過去と現在 理事(財務) 肥沼 武司	2
サブスクリプションの新たな側面: パスワード管理アプリの活用 理事 近藤 敦之	3

会告

2024年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー (第25回SARTセミナー)	4
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 第13回定期総会のお知らせ	6

お知らせ

埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ	44
(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。	45
埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内	46
賛助会員さまへのお知らせ	47
[メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて]	48

本会の動き

2023年度 MRI基礎講習会(Web)の開催報告	58
2023年度 救急撮影ケーススタディ開催報告	59
2023年度 第21回 胸部認定試験 開催報告	61
2023年度 第14回 CT認定試験開催報告	62
2023年度 第21回 上部消化管検査認定講習会 開催報告	63
2023年度 乳腺セミナー 開催報告	64
第37回 埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告	65
ご寄付お礼	68

各支部掲示板

第三支部	69
第四支部	71
第六支部	72

求人コーナー

求人コーナー	76
求人広告掲載申し込みFAX用紙	77

議事録

2023年度 第2回常務理事会議事録	78
2023年度 第6回理事会議事録(抄)	81
2023年度 第7回理事会議事録(抄)	87

役員名簿

2023・2024年度役員名簿	94
正会員入会申込書	96
退会届	98
FAX申し込み	99
年間スケジュール	100
編集後記	

連絡ツールの進化と世代間の価値観

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
常務理事 中根 淳



現代の職場では、情報リテラシーと即時性が求められ、電子連絡ツールが不可欠となっています。しかし、そこで起こる世代間のギャップは、情報伝達における大きな課題となっています。この現象は、情報リテラシーの教育が個人の責任とされ、さらに連絡ツールの価値観の多様性によってもたらされていると考えています。本巻頭言ではこの問題を解消し、職場で円滑なコミュニケーションを実現するための一助となるべく、世代を超えた情報伝達のアプローチに関して共有できればと考えています。

私が2006年に入職した頃は、伝言や電話といったアナログな連絡手段が一般的でした。しかし、テクノロジーの進歩により、メールやビジネスチャット、SNS・SMSといった電子的なツールが普及しました。この変化により、柔軟で迅速なコミュニケーションが可能になると期待されましたが、実際には古典的な手段が敬遠され、電子ツールに依存する傾向が強まりました。さらにこれらのツールの利用には、ケータイ世代とスマホ世代で異なる価値観が存在しています。

電子連絡ツールの役割を整理すると、まずメールが挙げられます。メールは柔軟なコミュニケーションを可能にし、ファイルの送受信や複数人

への一斉送信が容易です。さらに電話と異なり、相手を拘束せずに受信履歴を残し、細かい情報を含む伝達内容を間違いなく文字として相手に伝えるときに役立ちます。一方で、チャットはリアルタイムなやり取りができ、相手の反応がすぐに分かります。SNSのメッセージ機能も重要な連絡ツールですが、プライバシーの問題や職務規程によっては制限されることもあります。

そこで、特に注目すべきは、ケータイ世代におけるメールの利用価値の変化です。かつてはパソコンを使つてのメール利用が主流でしたが、スマホの普及により、リアルタイムな受信通知やファイル閲覧・返信が容易になりました。しかし、この変化が情報リテラシーの低下につながる恐れもあると考えています。

即時性と情報伝達の重要性は異なる次元であり、送信者のモラルが求められます。例えば、送信予約機能の活用やチャットとメールの使い分け、CCの削減などです。さらに電話を再評価する必要もあります。電子的なツールに依存しがちな中で、対話や会話は唯一無二のコミュニケーション手段であり、その重要性を再認識する必要があります。そしてノンバーバルコミュニケーションの有用性にも改めて注目してもらえると幸いです。

過去と現在

理事（財務） 肥沼 武司



携帯電話（今でいうガラケー）が普及しはじめた約30年前、当時、ビジネスマンを除けば国民の多くが所有しているとはいえなかった。自分が病院に勤め始めた当初で、携帯電話を持っている人は5人に1人くらいの印象だ。当時の携帯は、通話・時計・電話帳・着信メロディーくらいの機能しか有していなかった。それからカメラが付き、iモードというネットのまね事ができるようになった。それからスマートフォンが誕生し、さまざまなサービスが生まれ、その便利さから国民のほとんどが携帯電話を所有している時代になった。この30年ですさまじい進化である。人々の需要が多ければ、その物の機能は洗練され便利になっていく典型的な例だ。

自分が技師学校に在籍していた同じく約30年前、当時の統一講習会が技師会で開催されていたらしい。自分はまだ学生だったので、その内容は授業のカリキュラムに含まれていた。当時はMRI・超音波・無散瞳での眼底カメラの業務拡大であった。そして十数年後の統一講習会では針抜き、その後、針刺しが開催された。携帯電話同様、その資格に需要があれば常に進化を求められるのは世の常だ。時代は変化し続け、国民の要望と各医療団体の努力で法律は改正される。今後、何十年か分からないが、医療の発展のためにさらなる業務が加わり、診療放射線技師という職業が医療において今後も必要不可欠なものとしてあり続けてほしい。そのためには、今、われわれ現役の診療放射線技師が力を合わせ、目の前の問題や課題に真剣に向き合い、次の世代に良い意味で受け渡しができればと思う。

ヒト一人ができることはごくわずかだ。しかし、多くの団体・法人の努力、国民の要望で世の中は変えられる。時代に目を向け、過去・現在・未来へとつながればと思う。自分が技師会にできることは一会員であることと、理事としてほんの少し法人のお手伝いをしているにすぎない。会があり続けることが重要だ。実際、自分は勉強会で多くのことを学び職場に反映できた。公益関係でも健康祭りなどの参画で地域社会に貢献できたと思う。

大勢の力が実となれば個人でも職場や社会に貢献できる。そのためにも技師会に入会・在籍をしていただきたい。身近な方で未入会の方がいたら、ぜひ、入会を勧めて技師会の活動を利用していただけたら幸いである。

サブスクリプションの新たな側面： パスワード管理アプリの活用



理事（学術） 近藤 敦之

はじめに

サブスクリプションといえば、多くの人がYou Tube PremiumやAmazon Primeなどのサービスを思い浮かべるかもしれません。しかし、私は情報管理に役立つツールとして、パスワード管理アプリを活用しています。

パスワード管理アプリとは？

私が利用しているアプリは、Mac、iPhone、Windows、Androidなど、さまざまなプラットフォームで利用可能です。このアプリを使うと、ID、パスワード、クレジットカード情報などを一つのパスワードで管理できます。使いやすさとセキュリティ性能が多くのユーザーに支持されています。オンライン講習会やウェビナーを利用する際にも、便利なアシスタントとなります。学会の年会費や講習会参加費の支払いはオンライン決済が一般的となりつつありますが、個人情報や支払い情報のセキュリティは常に懸念事項です。こうした状況下で、パスワード管理アプリは、個々のアカウントを安全に管理する手段として役立ちます。オンラインツールやデジタルサービスの利用が増える中で、それらを適切に活用するためには、セキュリティ意識やパスワード管理のスキルが求められます。アプリを活用することで、効率的に管理することができます。

なぜサブスクリプションなのか？

私がパスワード管理アプリをサブスクリプションにする理由は、単純に利用頻度が高く定期的に利用するからです。サブスクリプションに向かないものは、利用頻度が不定期なものだと思っています。

まとめ

パスワード管理ソフトをサブスクリプションにするかどうかについては、賛否が分かれると思います。しかし、IDやパスワードの管理にはコストがかかっていると感じています。皆さまはどのようなサブスクリプションをお使いでしょうか？もし使っていないサブスクリプションは、この機会に解約を検討してみるのはいかがでしょうか？大切な情報の管理と費用対効果を考える際に、サブスクリプションの見直しは意義深いかもしれません。

2024年度 診療放射線技師のための フレッシューズセミナー(第25回SARTセミナー)

主催 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
共催 公益社団法人日本診療放射線技師会

本セミナーは主に新入職員を対象とした(公社)日本診療放射線技師会と(公社)埼玉県診療放射線技師会の合同企画です。技師会活動の紹介および日常業務に必要な基礎的知識や実習に加え、社会人として必要とされるマナーなどの習得を目的として開催しています。会員、非会員問わず、皆さまの受講をお待ちしております。

記

セミナー名：2024年度 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー
(第25回SARTセミナー)

日 時：2024年5月26日(日) 8:30~18:15

会 場：さいたま赤十字病院 2階 多目的ホール

定 員：70人(定員となり次第、締め切らせて頂きます)

対 象 者：診療放射線技師

受 講 料：無料

申 込 方 法：本会Webサイトからお申し込みください。(http://www.sart.jp/)

申 込 期 間：2024年4月8日(月)~5月10日(金)

プログラム(敬称略)

8:30~8:35	開講式・オリエンテーション	
8:35~8:45	開会のあいさつ	潮田 陽一(埼玉県診療放射線技師会副会長)
8:45~9:15	患者さんに優しい診療放射線技師	大河原侑司(さいたま赤十字病院)
9:15~9:45	社会人としてのエチケット・マナー講座	中根 淳(埼玉医科大学総合医療センター)
9:55~10:25	被ばく低減	宮崎 千晶(埼玉医科大学国際医療センター)
10:25~11:25	医療安全講座	小川 智久(上尾中央総合病院)
11:35~12:35	感染対策講座	茂木 雅和(上尾中央総合病院)
12:35~13:30	休憩 ※昼食はお弁当をご用意させていただきます	
13:30~14:30	検査手技と読影(一般撮影)	高橋 忍(埼玉医科大学病院)
	検査手技と読影(消化管撮影)	小林 茂幸(深谷赤十字病院)

14：40～15：40	検査手技と読影（CT・肺）	戸澤 僚太（済生会川口総合病院）
	検査手技と読影（MRI）	西山 翔（埼玉医科大学病院）
15：50～17：30	気管支解剖講座	富田 博信（埼玉県診療放射線技師会会長）
17：30～	閉会のあいさつ	城處 洋輔（埼玉県診療放射線技師会副会長）
	閉講式・入会案内	

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 埼玉県さいたま市宮原町2-51-39
TEL：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

常務理事（総務） 今出 克利
勤務先：大宮医師会
E-mail：k-imade@sart.jp

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 第13回定期総会のお知らせ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 富田 博信

日 時：2024年6月9日（日） 14:00から
総会会場：埼玉会館 2階 ラウンジ
〒330-8518 さいたま市浦和区高砂3-1-4 (TEL) 048-829-2471

記

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 第1号議案 | 2023年度 | 事業報告 (案) |
| 第2号議案 | 2023年度 | 決算報告 (案) |
| 第3号議案 | 2023年度 | 監査報告 |
| 第4号議案 | 名誉会員の承認 | |
| 第5号議案 | その他 | |
| 2023年度 | 補正予算 | 報告 |
| 2024年度 | 事業計画・予算 | 報告 |

【特別講演】 テーマ：未定
講 師：未定

* 総会資料につきましては会誌5月276号、決算関係はホームページをご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
〒331-0812 埼玉県さいたま市宮原町2-51-39
TEL：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

常務理事（総務） 今出 克利
勤務先：大宮医師会
E-mail：k-imade@sart.jp

第13回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会

次 第

開 会 の 辞
会 長 挨 拶
来 賓 挨 拶
表 彰
総会運営委員会報告
議 長 選 出
総 会 職 員 任 命
議 事
報 告

第1号議案 2023年度 事業報告 (案)
第2号議案 2023年度 決算報告 (案)
第3号議案 2023年度 監査報告
第4号議案 名誉会員の承認
第5号議案 その他
2023年度 補正予算 報告
2024年度 事業計画・予算 報告

閉 会 の 辞

**第13回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
定期総会**

2023年度事業報告（案）

2023年度事業報告（案）

1. 総括

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類へと移行した。これに伴い、学術大会は対面にて開催を行った。コロナ以前と同様に、活発な学術大会開催が開催できたことを、実行委員の皆さまに感謝致します。また、各種講習会、会議については、これまでのノウハウを活かし、Webや対面での会議を行い、会議に応じた安定的な運用を行うことができました。講習会については、全国を対象とできるためアピール次第では参加者が増えると予想しましたが、必ずしもそうではないことです。現地に行き、人と会うことで診療放射線技師としてのモチベーションに寄与するということも改めて認識させられました。

年度を通して、県内外において、アフターコロナに移行し日常を取り戻しておりますが、本会では、コロナ禍で培ったWeb講習会や会議を適宜使い分け、最も効果的な実行ができたと評価したいと思います。

2021年10月1日施行の診療放射線技師法改正による告示研修については、ファシリテーター協力の元、順調に開催を進め、当初予定より多くの会員に受講して頂くことができました。次年度以降もしっかりとした計画を立て進めてまいりたいと思います。

アフターコロナにおいても、柔軟に対応し、ご協力を頂きました会員の皆さま、会務に果敢に挑戦してくれた理事、委員、支部役員、関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

名誉会員の承認

本会へ多大な貢献があった会員として田中宏氏、堀江好一氏、宮澤浩治氏を名誉会員に推薦させていただきました。ご審議の程、よろしく申し上げます。

会員の育成

埼玉では以前から、講師育成に取り組んでまいりました。埼玉の会員が、他学会、他県技師会などで多くの人材が活躍しております。アフターコロナを迎え、国際学会へ発表する診療放射線技師が増えてきており、今後は技師会としてバックアップを行い、人材の育成に取り組んでまいります。

役員育成

技師会で学び育った人材が各施設でリーダーシップを発揮し、さらに人材育成をしていただくことは技師

会の役目でもあります。他職種と多くの関わりあいを持ち役員の成長につなげてまいります。また、短期、中期ビジョンを明確化し、本会の事業について評価を行い、PDCAサイクルを回せるよう、組織としても更なる成長をしていきたいと思っております。

他団体との連携強化

関連団体との交流を深める目的で、埼玉県臨床検査技師会、埼玉県理学療法士会、埼玉県臨床工学技師会へのイベント出席を行い、情報交換を行うことができました。

1) 総務

入会促進事業の一つであるフレッシューズセミナーは新型コロナウイルスがインフルエンザ5類となり、会場型での開催となりました。県内外から多数ご参加いただきました。今後も会員入会促進事業として継続していきたいと考えております。

永年勤続表彰事業は、日本診療放射線技師会より委託されている50年・30年の対象者を選出し返信いただいた会員のかたがたを日本診療放射線技師会に推薦致しました。表彰は2023年9月29日（金）～10月1日（日）熊本県開催の第39回日本診療放射線技師学術大会にて表彰されました。埼玉県診療放射線技師会の40年・20年永年勤続表彰は、対象者となる会員のかたがたを選出し、表彰委員会での承認をへて当会定期総会にて表彰予定です。

恒例となりました「新春の集い」は、久しぶりに対面での開催となりました。

役員研修会をオンライン形式で開催しました。テーマは「SART更なる発展とリーダーシップ向上」JART2040年構想、政策要望解説、あぜもと代議士による報告、技師連盟報告などが行われ、多数の役員および委員に参加いただきました。

今年度は、いろいろな行事が少しずつオンライン形式から対面形式に戻りつつあります。いずれの事業におきましても入会促進また会員の福利厚生事業として開催形式にこだわらず今後も継続していきたいと考えております。

2) 学術

各種講習会やセミナー、認定講習会、認定試験に関

しては、時代の需要に応じて、主にオンライン形式での開催としました。SART学術ナイトセミナーでは、現代の画像診断における自動化技術の進化やAIの導入など、診療放射線技師に必要なスキルが急速に変化する中で、画像検査の基本的な考え方は不変であることから、初学者から中級者向けに有益な情報を提供しました。

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会については、これまで第33回から主にWeb配信での開催でしたが、今回は約250人の参加者が会場に集い、盛況のうちに終了しました。会場内での活発な討論はもちろんのこと、参加者同士の交流が会場外でも多く見受けられ、対面での学術交流の価値を再認識する良い機会となりました。

今後は、講習会やセミナーの目的に応じて、Web開催と会場開催を柔軟に組み合わせることで、より多くの方々に参加いただけるよう努めてまいります。

3) 編集・情報

会誌「埼玉放射線」を計4号発刊しました。編集・情報活動は本会活動の中でも、重要な事業と考えています。

会誌「埼玉放射線」は、2014年から発行回数が年4回となりましたが、その分、内容をさらに充実させることへ力を注ぎました。

Webサイトについては、診療放射線技師向け情報提供や講習会などの申し込みの他、「診療放射線技師として必要な情報はなるべく掲載する」という方針のもと、多岐にわたる情報を発信しました。また県民の方が閲覧しても有益なよう、医療被ばくについての解説や、放射線検査の紹介など、放射線診療に関する正確な情報を、専門家の立場から分かりやすく提供しました。

これらWebサイトの他、非定期に会員向けメールマガジンの配信を行いました。Webサイトやメールマガジンは即時性の高い情報提供手段と考えています。

今後は、会員のために充実した魅力ある技師会・会誌になるよう務めていきたいと考えます。

4) 公益

2023年度本会公益活動は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、コロナ禍以前の活動を再開させていただきました。

・埼玉県各支部の医療画像展でのパネルを使用した放

射線検査や治療などの説明とパンフレットの配布

・放射線特別授業の再開

それに加え従来の

・ホームページからの被ばく相談

・放射線被ばくに関する講習会

・被ばく相談事例検討会

を行いました。

放射線特別授業では、「3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験」を通して、医療業界に進路を考えている学生にさまざまな職種があることをお伝えすることができ、進路決定の一助になったとの声をいただいております。

また、小学生・中学生に対しては埼玉県 県民生活部 青少年課が開催しております「夢を見つける！リアル体験教室」に協力させていただきました。

今後も従来の活動を踏襲するだけでなく、公益活動について、環境にあわせた活動を熟考しながら行っていく所存です。

2. 事業遂行評価

1) 職業人としての質の向上

(1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催

- | | |
|--|---|
| ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催 | ○ |
| イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会 | × |
| ウ. 胸部撮影認定講習会 | ○ |
| エ. 上部消化管検査認定講習会 | ○ |
| オ. フレッシュアップセミナー (SARTセミナー) | ○ |
| カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー (医療安全、接遇・クレーム、医療経営、人材育成) | ○ |
| キ. CT認定講習会 | ○ |
| ク. MRI基礎講習会 | ○ |
| ケ. 乳腺セミナー | ○ |
| コ. DR計測セミナー | ○ |
| サ. 救急撮影ケーススタディー (日本救急撮影技師認定機構との共催) | ○ |
| シ. 読影力向上のための講習会 (支部開催セミナー) | △ |
| ス. AI (Artificial Intelligence) 関連講習会の開催 | × |
| セ. オンラインセミナー、学会の充実およびデジタル化 | ○ |
| ソ. 業務拡大2015年統一講習会の継続および告 | |

- 示研修開催への協力 ○
- タ.オンライン会議の推進 ○
- (2) 会員講師の育成と体制づくり ○
- (3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会
企画推進
- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力 ○
- イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力 ○
- ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援 ×
- エ. 埼玉県臨床検査技師会への協力 ○
- オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画 ×
- カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画 △
- キ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進） △
- 2) 組織運営に関わる事業
- (1) 行政との連携 ○
- (2) 入会促進事業の強化 ○
- (3) 会員データベースの再構築 ×
- 3) 公益目的事業
- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発行 ○
- (2) 市民公開講座の開催 ×
- (3) 地域自治体主催事業への参画 ○
- (4) 医療画像展の開催と支援 ○
- (5) 県民向けホームページの充実 △
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応 ○
- (7) 中学校における特別授業の担務 ○
- 4) 編集・情報
- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実 ○
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実 ○
- ア. 各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な
広報
- イ. 学術データベースの充実
- (3) e-book 事業の推進 ○
- (4) メールマガジンの有効利用 ○
- 5) その他
- (1) 他医療職種団体との連携 ○
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力 ○

2023年度各事業報告

1. 総務事項報告

(1) 2023年度役員は次の通りである。

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	富田 博信	
副 会 長	潮田 陽一	
同	城處 洋輔	
監 事	田中 宏	
同	浅野 克彦	
常 務 理 事	今出 克利	総 務
同	八木沢英樹	総 務
同	中根 淳	学 術
同	滝口 泰徳	学 術
同	佐々木 健	公 益
同	清水 邦昭	編 集・情 報
理 事	肥沼 武司	財 務
同	近藤 敦之	学 術
同	浅見 純一	学 術
同	吉田 敦	編 集・情 報
同	紀陸 剛志	公 益
同	佐藤 吉海	総 務・第一支部
同	大西 圭一	総 務・第二支部
同	大友 正人	総 務・第三支部
同	大野 涉	総 務・第四支部
同	矢崎 一郎	総 務・第五支部
同	仲西 一真	総 務・第六支部

(2) 会議開催状況

ア. 総会

第12回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会総会を2023年6月11日（日）、埼玉会館において会員40人出席、有効委任状提出727人（全委任状提出766人、無効委任状39人）、合計806人にて開催した。総会では2022年度事業報告案、2022年度決算報告案、2022年度監査報告、および名誉会員の承認などについて審議し決議した。

イ. 理事会は下記の通り8回開催し、重要案件について審議し決議した。

理事会開催状況

	年 月 日	開 催 場 所
1	2023.05.25	オンライン開催
2	2023.06.11	同
3	2023.07.06	同
4	2023.08.03	同

総会資料

	年月日	開催場所
5	2023.09.07	同
6	2023.11.02	同
7	2024.01.04	同
8	2024.03.07	同

ウ. 常務理事会は下記の通り4回開催し、理事会への提案議題の審議ならびに決定事項について処理した。

常務理事会開催状況

	年月日	開催場所
1	2023.04.06	オンライン開催
2	2023.10.05	同
3	2023.12.07	同
4	2024.02.01	同

エ. その他

連絡会議並びに予算会議を開催、会務の重要事項について審議立案し、必要事項を調整しこれを処理した。

連絡会議

	年月日	開催場所
1	2023.05.18	オンライン開催
2	2023.06.28	同
3	2023.07.27	同
4	2023.08.31	同
5	2023.10.26	同
6	2024.02.29	同

予算会議

	年月日	開催場所
1	2024.02.28	税理士への相談
2	2024.03.07	常務理事会内 (Web)

全国会長会議

	年月日	開催場所
1	2023.07.16	三田国際ビル

関東甲信越会長会議

	年月日	開催場所
1	2023.11.11	大宮ソニック

北関東地域会長会議

	年月日	開催場所
1	2023.06.23	山梨大学
2	2023.11.11	大宮ソニック

(3) 各委員会開催状況

各委員会開催状況は別表の通りである。

委員会名	開催年月日
総会運営委員会	2022.12.12
編集情報委員会	2023.07.13
	2023.08.23
	2024.03.18
学術委員会	2023.05.12
	2023.06.15
	2023.07.18
	2023.08.24
	2023.09.26
	2023.10.17
	2023.12.04
	2024.02.19
2024.03.18	
公益委員会	2023.09.05
	2023.11.20
	2024.03.05
放射線特別授業運営委員会	公益委員会と合同

表彰委員会

	年月日	開催場所
1	2023.09.03	オンライン開催
2	2023.11.30	オンライン開催
3	2024.02.28	オンライン開催

(4) 各種委員会名簿

ア. 表彰委員会

役職名	氏名
委員長	田中 宏
委員	清水 文孝 橋本 里見
同	富田 博信 潮田 陽一
同	城處 洋輔 今出 克利
同	平野 雅弥
同	八木沢英樹

イ. 医療画像展実行委員会 (秩父会場)

実行委員	氏名
委員	大野 渉 柏瀬 義倫
同	高井 太一 横田 文克

ウ. 医療画像展実行委員会 (浦和区会場)

浦和区健康祭り事業撤退のため今後開催予定無し

工. 医療画像展実行委員会（越谷市会場）

実行委員	氏名		
委員	大友 正人	浅見 徹	
同	長住 一樹	遠藤 真里	
同	明田川尚宏	細井 慎介	
同	佐藤 浩彰	大出 安美	
同	白石 未来	小見彩也香	

才. 医療画像展実行委員会（深谷会場）

実行委員	氏名		
委員	大野 涉	柏瀬 義倫	
同	高井 太一	田中 智大	
同	大谷 智則	山崎 貴雄	
同	山田 伸司	齋藤 幸夫	
同	佐藤 綾香	小林明日香	

力. 医療画像展実行委員会（伊奈町会場）

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の影響を考慮して参加辞退

キ. 医療画像展実行委員会（行田会場）

実行委員	氏名		
委員	大野 涉	柏瀬 義倫	
同	高井 太一	大谷 智則	
同	浅見 純一		

ク. 編集・情報委員会

役職名	氏名		
委員長	清水 邦昭		
副委員長	吉田 敦		
委員	肥沼 武司	潮田 陽一	
同	宮崎 雄二	八木沢英樹	
同	大友 哲也	渡部 伸樹	
同	堀越 隆之		

ケ. 学術委員会

役職名	氏名		
委員長	中根 淳		
副委員長	滝口 泰徳	近藤 敦之	
同	浅見 純一		
委員	城處 洋輔	亀山 枝里	
同	妹尾 大樹	吉澤 孝郁	
同	戸澤 僚太	服部 正美	
同	池野 裕太	堀切 直也	
同	茂木 雅和	廣田 絵美	
同	小川 智久	白石 健吾	
同	野々浦成美		

コ. 公益委員会

役職名	氏名		
委員長	佐々木 健		
副委員長	紀陸 剛志		
委員	志藤 正和	内海 将人	
同	石田 仁子	大河原侑司	
同	佐藤 克哉	嶋崎 恭介	
同	宮崎 千晶	芳賀 陽菜	
同	森田 希生		

サ. 総務・財務委員会

役職名	氏名		
委員長	今出 克利		
副委員長	八木沢英樹	潮田 陽一	
委員	肥沼 武司		
同	佐藤 吉海	大西 圭一	
同	大友 正人	大野 涉	
同	矢崎 一郎	仲西 一真	
同	佐々木 剛	茂木 雅和	
同	岡田 尚也	福田 菜	
同	戸澤 茜		

シ. 総会運営委員会

役職名	氏名			
委員長	榎本 克希			
委員	岡田 良祐	浅見 徹		
同	田中 智大	尾形 笑		
同	上原 雅人			

ス. 総会実行委員会

役職名	氏名		
委員長	富田 博信		
副委員長	潮田 陽一	城處 洋輔	
委員	今出 克利	八木沢英樹	
同	中根 淳	滝口 泰徳	
同	清水 邦昭	佐々木 健	

(5) 令和5年度 表彰者（敬称略）

ア. (春) 叙勲瑞宝双光章受賞

尾形 智幸

(秋) 叙勲瑞宝双光章受賞

堀江 好一

イ. 保健衛生知事表彰

該当者なし

ウ. 公衆衛生功労知事表彰

小林 剛、山岸 正和、近藤 和彦

エ. 公衆衛生事業功労者（財）日本公衆衛生協会会長

表彰

該当者なし

オ. (公社) 日本診療放射線技師会表彰

(ア) 永年30年勤続者表彰 (26人)

藤田 春光、磯目 昌彦、青木 俊夫、
城間 正男、林 哲雄、古山 康夫、
黒谷 淑子、小林 剛、庭田 清隆、
大塚 忠義、大森 正司、荒川 昇、
清水 亨、亀山 晃、近藤 忠晴、
矢崎 一郎、大林 勲、若林 康治、
駒崎 和博、長谷部和仁、間山金太郎、
蓮見眞一郎、田嶋 陽一、花房 哲雄、
高村 明宏、三浦 亘

(イ) 永年50年勤続者表彰 (2人)

小島 精一、小川 清

カ. (公社) 埼玉県診療放射線技師会表彰

(ア) 永年20年勤続表彰 (12人)

大角 哲也、武井 規安、須永 裕貴、
大谷 智則、吉田 敦、内海 将人、
藤田 慎也、澤田 叔也、土屋 純、
横山 恭子、今出 克利、瀬川麻衣子

(イ) 永年40年勤続表彰 (4人)

飯島 秀信、堀江 好一、栗田 幸喜、
宮澤 浩治

(6) 物故者：なし

(7) 会員の動向 (2024年2月28日現在)

項 目	会 員 数
2022年度末 会員数	1,431人
2023年度 新入会者数	99人
同 再入会者数	5人
同 転入者数	11人
同 転出者数	14人
同 退会者数	30人
2023年度末 会員数	1,502人

(8) 2023年度賛助会員16社 (順不同)

シーメンスヘルスケア株式会社
GEヘルスケア・ジャパン株式会社
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
株式会社メディカル・サービスT&K
コニカミノルタジャパン株式会社
カイゲンファーマ株式会社
富士フイルムメディカル株式会社

富士フイルムヘルスケア株式会社
日本メジフィジックス株式会社
株式会社フィリップス・ジャパン
バイエル薬品株式会社
PDRファーマ株式会社
株式会社サイカンシステム
島津メディカルシステムズ株式会社
株式会社東日本メディカル
株式会社ドクターネット

2. 学術教育活動報告

(1) 第7回 SART学術ナイトセミナー

～画像検査のワンポイントアドバイス～

講 師：中根 淳、浅見 純一、滝口 泰徳、
近藤 敦之

日 程：2023年7月20日 (木)

場 所：Zoomを利用したオンライン開催

参 加 者：54人

(2) 第8回Freedセミナー

講 師：THINGiRファシリテータ 大澄りえ

日 程：2023年9月9日 (土)

場 所：埼玉県診療放射線技師会事務所

参 加 者：8人

(3) 2023年度 第8回 DR計測セミナー

講 師：樋口 誠一、堀切 直也、滝口 泰徳、
戸澤 僚太

日 程：2023年10月7日 (土)

場 所：埼玉県済生会川口総合病院

参 加 者：5人

(4) 第8回 SART学術ナイトセミナー

～CT検査ステップアップのためのワンポイント
アドバイス～

講 師：堀切 直也、廣田 絵美、野々浦成美、
茂木 雅和

日 程：2023年10月19日 (木)

場 所：Zoomを利用したオンライン開催

参 加 者：35人

(5) 2023年度 第14回CT認定講習会

講 師：富田 博信、八木沢英樹、寺澤 和晶、
中根 淳、城處 洋輔

日 程：2023年11月19日 (日)

場 所：Zoomを利用したオンライン開催

参 加 者：7人

(6) 2023年度 第21回胸部認定講習会

講師：滝口 泰徳、吉澤 孝郁、笹原 重治
森 一也、戸澤 僚太、佐々木 健
日程：2023年11月26日（日）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：18人

(7) 2023年度 MRI基礎講習会

～専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識～

講師：糸見 陽平、駒形 一成、綾部 佑介
日程：2023年12月16日（土）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：21人

(8) 2023年度 救急撮影ケーススタディ

講師：大塚 和也、市川 暁
日程：2024年1月13日（土）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：14人

(9) 2023年度 第21回胸部認定試験

日程：2024年1月14日（日）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：17人
認定者：A認定 三島 裕介
B認定 松倉 和久、勅使河原 真由美、
峯村 祐美、立野 友香、
印田 起基、伊藤 涼香、
富田 剛史

(10) 2023年度 第14回CT認定試験

日程：2024年1月18日（木）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：6人
認定者：A認定 該当者なし
B認定 沼田 将太、三島 裕介

(11) 2023年度 第21回上部消化管検査認定講習会

講師：浅見 純一、志田 智樹、池田 圭介
今出 克利、大森 正司
日程：2024年1月21日（日）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：9人

(12) 2023年度 第20回上部消化管検査認定試験

日程：2024年2月4日（日）
場所：Zoomを利用したオンライン開催
参加者：6人
認定者：A認定 該当者なし
B認定 塚田 将司、篠崎 あい

(13) 2023年度 乳腺セミナー

講師：土田 拓治、廣田 絵美、舘沼理保奈
日程：2024年2月18日（日）
場所：さいたま赤十字病院
参加者：7人

3. 編集・情報・活動報告

(1) 編集活動報告

2023年度の編集活動として、会誌「埼玉放射線」を第71巻271号から第71巻274号まで、計4回発刊致しました。

第71巻1月271号では、第36回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集、特集：医療法に基づくエックス線診療室の漏えい線量測定、技術解説4社など。

第71巻5月272号では、2号連続特集「深吸気息止め照射の臨床導入、誌上講座として「手持ち撮影歯科用エックス線装置の法令適用」、第12回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会資料など。

第71巻7月273号では、2号連続特集「アプチェスを用いたDIBH導入時の注意点」・「SGRTを用いたDIBH導入時の注意点」学術大会 最優秀演題賞抄録「自動断面設定を用いた膝関節MRIにおける再現性の検討」抄録など。

第71巻10月274号では、第36回埼玉県診療放射線技師学術大会抄録集、技術解説2社などを掲載しました。

(2) 情報活動報告

ア「会員向けHP」

- 1) 学術案内（15件）
- 2) 表紙・巻頭言（4件）271～274号まで
- 3) 会誌・バックナンバー（4件）268～271号まで
- 4) お知らせ（44件）

イ「一般向けHP」

- 1) 「会誌・バックナンバー」（4件）268～271号まで
- 2) お知らせ（2件）

ウ「メールマガジン配信」

- 1) 配信8件（no.123からno130まで）
- 2) 登録7件

4. 新春の集い

日程：2024年1月12日（金）
場所：大宮サンパレス／GLANZ「ストーリー」
3F

5. 財務報告

決算関係報告は総会にて行います。

バイエル薬品株式会社 大沼 秀樹

6. 公益活動

(1) 医療画像展 4回

(2) 被ばく相談

ホームページにて6件

(3) 放射線特別授業

・早稲田大学本庄高等学院

開催日：2023年7月5日（水）

・開智中学高等学校

開催日：2023年7月26日（水）

・浦和明の星女子中学高等学校

開催日：2024年1月20日（土）

(4) 夢を見つける！リアル体験プレミア教室

開催日：2023年12月3日（日）

場所：さいたま市民会館（レイボックホール）

参加者：46人

(イ) 一般演題

「肝疾患の基礎と臨床」

済生会川口総合病院 保川 裕二

「救急医療におけるMRI検査の基礎」

さいたま市立病院 石田 貴志

(3) 支部役員会

日時：2023年11月7日（火）19：00～

場所：浦和コミュニティーセンター

役員：9人

内容：第2回勉強会内容について

(4) 支部役員会

日時：2024年1月23日（火）19：00～

場所：浦和コミュニティーセンター

役員：10人

内容：第2回勉強会発表スライド打ち合わせ

(5) 第2回支部勉強会

日時：2024年2月16日（金）19：00～

場所：浦和コミュニティーセンター

参加人数：63人

内容：

(ア) メーカー講演

「グリッドの理解」

株式会社 三田屋製作所 横内 悟朗

(イ) 一般演題

「3次救急における頸髄損傷への対応とMRI検査」

さいたま市立病院 榎本 克希

「これだけは知っておこう、PE + DVTの基礎」

済生会川口総合病院 鈴木 雄大

「Single Source の Dual Energy を用いたPE + DVT 造影CT検査について」

東川口病院 田村 智將

「Single Energy CTを用いたPE+DVT撮影」

さいたま市立病院 野々浦 成美

7. 支部報告

第一支部

支部理事 佐藤 吉海

監事 宮澤 浩治

役員 双木 邦博 八木沢英樹

大岩 祐哉 小野田真帆

福田 栞 野々浦成美

北原 弘治 山本夏都美

田村 智將 内藤 完大

関口 諒

(1) 支部役員会

日時：2023年7月21日（金）19：00～

場所：浦和コミュニティーセンター

役員：9人

内容：勉強会内容、役員変更について

(2) 第1回支部勉強会

日時：2023年10月20日（金）19：00～

場所：Zoomを利用したオンライン開催

参加人数：104人

内容：

(ア) メーカー講演

「新製品 ziostation REVORAS のご紹介」

アミン株式会社 明福 義昭

「新たなCT用造影剤インジェクタCentargoの製品紹介」

第二支部

会長（支部理事） 大西 圭一

会計 大西 圭一

役員 三島 裕介 梅澤 達也

小澤 昌則 岡田 良祐

第三支部

会長（支部理事） 大友 正人

副会長 浅見 徹
 会計 長住 一樹
 監事 今井 昇
 役員 遠藤 真里 明田川尚宏
 細井 慎介 佐藤 浩彰

(1) 第1回 支部役員会
 日時：2023年4月24日(月) 19:00～19:50
 会場：埼玉医科大学国際医療センター
 参加人数：7人
 内容：2023年度事業日程について

(2) 第2回 支部役員会
 日時：2023年6月28日(水) 18:00～18:45
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：第1回第三支部勉強会について
 参加人数：6人

(3) 第1回第三支部勉強会
 日時：2023年7月14日(金) 18:30～19:45
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：今年度事業予定・役員改選報告
 技師講演
 もう一度学ぼう、急性腹症
 ～画像所見を中心に～
 埼玉医科大学総合医療センター 細田 菜月
 高度救命救急センターってどんな所？
 ～搬送から治療まで～
 埼玉医科大学総合医療センター 町田 遼河
 参加人数：63人

(4) 第3回 支部役員会
 日時：2023年7月14日(金) 19:30～20:15
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：第37回川越市健康まつりについて
 参加人数：7人

(5) 第4回 支部役員会
 日時：2023年11月20日(月) 19:00～19:40
 場所：埼玉医科大学国際医療センター
 内容：川越市健康まつり、定時総会・勉強会について
 参加人数：5人

(6) 第37回 川越市健康まつり
 日時：2023年12月17日(日) 12:00～15:00
 場所：ウェスタ川越 多目的ホール
 内容：医療画像展、パネル展示、被ばく相談など
 参加人数：32人

(7) 第5回 支部役員会
 日時：2024年1月26日(金) 16:30～18:30
 場所：埼玉医科大学国際医療センター
 内容：第三支部・地区定時総会案内状作成
 参加人数：2人

(8) 第6回 支部役員会
 日時：2024年2月28日(水) 18:00～19:30
 場所：Zoomを利用したオンライン開催
 内容：第三支部・地区定時総会・勉強会について
 参加人数：6人

(9) 2023年度 第三支部定期総会・勉強会
 日時：2024年3月14日(木) 19:00～21:00
 場所：ウェスタ川越 2階 活動室1
 内容：定時総会・勉強会
 メーカー講演
 シーメンスCT最新情報
 シーメンスヘルスケア株式会社CT事業部
 中島 彩

技師講演
 緊急性の高い胸部疾患～大動脈解離～
 埼玉医科大学病院 中央放射線部
 長嶋 賢太
 「Dynamic Digital Radiography
 単純X線撮影は、動画撮影の領域へ」
 埼玉医科大学病院 中央放射線部
 関谷 陸

参加人数：42人

第四支部

会長(支部理事) 大野 涉
 副会長 柏瀬 義倫
 会計 高井 太市
 役員 大谷 智則 山崎 貴雄
 田中 智大 横田 文克
 監事 山田 伸司

(1) 医療画像展(秩父市保健センターまつり)
 日時：2023年7月30日(日) 12:00～17:00
 場所：秩父市役所
 内容：パネル展示
 参加者：100人

(2) 2023年度 第四支部 納涼会
 ※コロナウイルスの影響で中止

(3) 第1回四支部勉強会

総会資料

日 時：2023年9月28日(木) 19:00~21:00

内 容：

メーカー講演

「RF予備校 ～初めてのアブレーション～」

ディービエックス株式会社

中日本第三営業部 群馬営業所一課

大藤泰彦氏

技師講演

「アブレーション術前CT」

深谷赤十字病院 放射線科部 齋藤幸夫氏

参加者：59人

(4) 第1回 四支部役員会

日 時：2023年9月28日(木) 21:00~21:30

内 容：納涼会、勉強会、健康祭り

参加者：8人

(5) 医療画像展（深谷市福祉健康まつり）

日 時：2023年10月29日(日) 9:00~15:00

場 所：深谷ビックタートル・深谷市総合体育館

内 容：骨密度測定、パネル展示、スーパーボール釣り、被ばく相談など

参加者：417人

(6) 2023年度 第四支部 忘年会

※コロナウイルスの影響で中止

(7) 四支部役員引き継ぎ会

日 時：2023年12月22日(金) 19:00~20:00

場 所：熊谷総合病院

参加者：7人

(8) 第2回 四支部勉強会

日 時：2024年1月18日(木) 19:00~20:30

内 容：

メーカー講演

「CT造影の基礎と医療安全について」

根元杏林堂 営業部 宇越 弘樹 氏

技師講演

「脳卒中と血管内治療について」

東松山市立市民病院

放射線科 早川 和也 氏

参加者：48人

(9) 第2回 四支部役員会

日 時：2024年1月18日(木) 20:30~21:00

内 容：監査会、総会日程について

参加者：9人

(10) 2023年度 四支部監査会

日 時：2024年3月6日(水) 19:00~

内 容：会計監査など

参加者：8人

(11) 医療画像展（行田健康フォーラム2024）

日 時：2024年3月17日(日) 12:30~16:00

場 所：行田市産業文化会館

内 容：骨密度測定など

参加者：66人

(12) 第3回 四支部勉強会・2023年度第四支部総会

日 時：2024年3月21日(木) 19:00~

講演内容：

「能登半島地震での日赤救護班活動を経験して」

小川赤十字病院 清水 美季 氏

「新生MRI室始動しました！」

小川赤十字病院 橋本亜矢子 氏

参加者：48人

(13) 第4回 四支部役員会

日 時：2024年3月21日(木) 20:30~21:00

参加者：10人

第五支部

支部理事 矢崎 一郎

支部役員 岩井 悠二 石原 優希

矢部 智 村本 圭祐

中嶋 幸孝 金子 初穂

矢作 悠馬 町永 努

加藤 広一 関口 敬雄

中村 優志 曾根 昌弘

駒崎 和弘

(1) 医療画像展

日 程：2023年10月22日(日)

場 所：越谷市日光街道周辺

(越谷市民祭り内にて開催)

第六支部

会 長(支部理事) 仲西 一真

副会長 池野 裕太

監 事 山口 明 大森 正司

学 術 木村 千尋 小保方 駿

安東 千尋

広 報 吉井 肇

編 集 畠山 洋一

総 務 野口 裕輔 上原 雅人

会 計 大川斗喜也 木暮 萌絵

(1) 第1回 支部役員会

日 時：2023年4月21日(金) 19:00～20:00
 場 所：上尾中央総合病院 臨床研修センター
 参加者：10人

(2) 第1回 定期講習会

日 時：2023年7月6日(木) 19:00～21:00
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール
 参加者：26人
 テーマ：一般撮影

- ①膝関節レントゲン撮影について
 彩の国東大宮メディカルセンター 北隅 諒大
- ②THA術前に必要な股関節撮影
 さいたま赤十字病院 齋藤 尚希
- ③小児撮影
 埼玉県立小児医療センター 長嶋 萌葉
- ④救急外来での一般撮影-胸部・足関節-
 上尾中央総合病院 上原 雅人

(3) 第2回 支部役員会

日 時：第二回 役員会
 場 所：上尾中央総合病院 会議室
 参加者：9人

(4) 第2回 定期講習会

日 時：2023年11月29日(水) 19:00～21:00
 場 所：上尾中央総合病院 臨床研修センター
 参加者：25人
 テーマ：各施設での救急撮影の取り組み

- ①白岡中央総合病院の救急撮影の取り組み
 白岡中央総合病院 田中 啓太
- ②丸山記念総合病院の救急撮影の取り組み
 丸山記念総合病院 黒住 奈那
- ③上尾中央総合病院の救急撮影の取り組み
 上尾中央総合病院 齋藤 里奈
- ④さいたま赤十字病院の救急撮影の取り組み
 さいたま赤十字病院 大川斗喜也

(5) 第3回 支部役員会

日 時：2024年1月16日(火) 19:00～20:00
 場 所：さいたま赤十字病院 第3会議室
 参加者：10人

(6) 支部会計監査

日 時：2024年1月23日(火) 19:00～20:00
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催
 参加者：6人

(7) 定期総会 第3回定期講習会

日 時：2024年3月22日(金) 19:00～21:00
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール

参加者：26人

テーマ：上腹部MRI攻略ガイド

上尾中央総合病院 木下 友都

8. 研究会活動

(1) 埼玉乳房画像研究会活動報告

ア. 第80回画像の向こうの患者をみよう勉強会
 (症例検討会)

日 時：2023年6月12日(月) 19:00～21:00
 場 所：さいたま赤十字病院とZoomによる
 Webのハイブリッド開催

内 容：症例検討会

総司会

埼玉県立小児医療センター 田中 宏

参加者：23人

イ. 第6回埼玉乳房画像研究会講習会

日 時：2023年7月31日(月) 18:30～20:30
 場 所：さいたま赤十字病院とZoomによる
 Webのハイブリッド開催

内 容：マンモグラフィのポジショニングについて考えよう

講義 埼玉県立がんセンター 辻村 明日香
 ポジショニング実践

さいたま赤十字病院 舘沼 理保奈
 埼玉県立がんセンター 湧田 もみじ

参加者：13人

ウ. 第7回埼玉乳房画像研究会講習会

日 時：2023年10月12日(木) 18:40～20:40
 場 所：Zoomを利用したオンライン開催

内 容：読影の基礎～腫瘍編～

乳房MRI撮像のトピックス

GEヘルスケア・ジャパンMR部 池田浩太郎

MMG 行田中央総合病院 坂口 由樹

US 北里大学 山田 智子

MRI 埼玉協同病院 佐藤夏都美

参加者：14人

エ. 第81回画像の向こうの患者をみよう勉強会

(症例検討会)

日 時：2024年2月9日(金) 19:00～21:00
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール

内 容：症例検討会

総司会

埼玉県立小児医療センター 田中 宏

参加者：9人

(2) 埼玉消化管撮影研究会活動報告

ア. 第66回埼玉消化管撮影研究会

日 程：2023年7月26日 (水)
 場 所：Zoom を利用したオンライン開催
 総合司会 深谷赤十字病院 小林 茂幸
 内 容：
 講 義：『新しい透視画像処理技術 DeEP 』
 さいたま赤十字病院 大森 正司

埼玉消化管症例閲覧会：

司会 行田中央総合病院 浅見 純一
 症例提供 済生会川口総合病院 池田 圭介

参加者：72人

イ. 第67回埼玉消化管撮影研究会

日 程：2023年11月28日 (火)
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール
 総合司会 深谷赤十字病院 小林 茂幸
 内 容：前壁撮影 圧迫用フトンの活用法
 講 義：

バスタオルおにぎり法

さいたま赤十字病院 小此木 俊

バスタオルのりまき法

済生会川口総合病院 池田 圭介

長フトン法

JCHOさいたま北部医療センター 鶴沼 清二

参加者：62人

ウ. 第68回埼玉消化管撮影研究会

日 程：2024年3月26日 (火)
 場 所：さいたま赤十字病院 多目的ホール
 総合司会 深谷赤十字病院 小林 茂幸
 内 容：
 講 義：

バリウム新製品紹介

カイゲンファーマ株式会社 野島 翔希

バリウムの消化管穿孔

JCHO埼玉メディカルセンター 田中 一臣

埼玉消化管症例閲覧会：

司会 済生会川口総合病院 池田 圭介

症例提供 みさと健和病院 山本与志樹

参加者：28人

2023年度（公社）埼玉県診療放射線技師会理事会審議事項

1. HP更新のためのWordPressバージョンアップの件、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-1）
継続審議
2. 2022年度事業報告（案）について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-2）承認
3. 名誉会員の承認、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-3）承認
4. 2022年度埼玉県診療放射線技師会決算承認について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-4）承認
5. 監査報告書の承認、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-5）承認
6. 第7回SART学術ナイトセミナーの開催、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-6）承認
7. 2023年度Freedセミナーの開催、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-7）承認
8. 第26回秩父市保健センターまつりに参加し、医療画像展の開催、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-8）承認
9. 新入会員の承認について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-9）承認
10. 2023・2024年度、代表理事（会長）、副会長、常務理事の選任について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-10）承認
11. 2023・2024年度 相談役の選任について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-11）承認
12. 学術大会の参加登録を事前と当日の2つの区分にしたい。2つに分ける場合は、金額と支払い方法に関して審議してもらいたい。
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-12）承認
13. SARTホームページ更新環境のバージョンアップについて、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-13）承認
14. ウイルスソフト（ESET）の更新について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-14）承認
15. JSRT関東（東京支部）との合同学術大会の開催について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-15）承認
16. 新入会員の承認について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-16）承認
17. 「夢を見つける！リアル体験教室 あこがれの職業を体験しよう！」への参加について（主催：埼玉県・青少年育成埼玉県民会議）、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-17）承認
18. 第37回川越市健康まつりへ参加し、医療画像展を行うにあたっての予算案の承認および展示パネル、のぼりの貸し出しについて、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-18）承認
19. DR計測セミナーを開催したい、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-19）承認
20. 第21回胸部認定講習会・試験を開催にしたい、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-20）承認
21. 2023年度 上部消化管検査 認定講習会の開催について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-21）承認
22. 第8回SART学術ナイトセミナーを開催したい、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-22）承認
23. 第37回埼玉県診療放射線技師学術大会の開催案内および参加登録に関して審議および承認をお願い致します。学会のテーマは学術委員会で審議した結果、”「MANABI」 求められる診療放射線技師をめざして”を案として挙げました。
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-23）承認
24. 2024年“新春の集い”開催について（開催方法：会場参加型）、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-24）承認
25. 新入会員の承認について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-25）承認
26. 深谷市福祉健康まつりに企画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-26）承認
27. 会誌「埼玉放射線」の編集・印刷発送業務の契約満了に伴い、次期もキタジマと契約更新したい、
資料を基に審議し承認した。（議案書番号：理-27）承認

28. 第14回CT認定講習会と認定試験を開催したい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-28) 承認
29. 2023年度救急撮影ケーススタディを開催したい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-29) 承認
30. MRI基礎講習会を開催したい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-30) 承認
31. “2024年新春の集い”開催詳細について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-31) 承認
32. 第48回越谷市民祭りの事業に参加、医療画像展として出店予定。予算案の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-32) 承認
33. 新入会員の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-33) 承認
34. 公益委員会事業として開催している放射線特別授業「3Dワークステーションを用いた人体解剖学体験」用にノートPCとDICOM Viewerの追加購入をお願いしたい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-34) 承認
35. 乳腺セミナーを開催したい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-35) 承認
36. 2024年埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新委託について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-36) 承認
37. 新入会員の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-37) 承認
38. 「夢を見つける！リアル体験教室・あこがれの職業を体験しよう！」予算修正について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-38) 承認
39. 2024年度 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー（第25回SARTセミナー）の開催について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-39) 承認
40. 2024年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第13回定期総会の開催について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-40) 承認
41. 第38回以降の埼玉県診療放射線技師学術大会において一般演題の筆頭演者、座長、講師についての条件を設けたい、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-41) 承認
42. 行田市市民フォーラム2024に参画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-42) 承認
43. 新入会員の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-43) 承認
44. 2024年度事業計画（案）について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-44) 承認
45. 2024年度（公社）埼玉県診療放射線技師会予算案について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-45) 承認
46. （公社）埼玉県診療放射線技師会75周年記念祝賀会開催について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-46) 承認
47. （公社）埼玉県診療放射線技師会 永年勤続表彰対象者（20年・40年）の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-47) 承認
48. 新入会員の承認について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-48) 承認
49. 「診療放射線技師法の改正と業務拡大に伴う統一講習会」事業、「令和3年厚生労働省告示第273号研修」事業にファシリテータとして協力された方への功労表彰について、 資料を基に審議し承認した。(議案書番号：理-49) 承認

2024年度事業計画（案） タスクシフト・シェアの推進と組織率向上の施策

2024年度の埼玉県診療放射線技師会の事業計画は、診療放射線技師のタスクシフト・シェアの推進と組織率の向上を目指したい。ここで、タスクシフト・シェアにおいて、核となるのは、告示研修の計画的な実施を推進することであるが、県内さまざまな施設においての実践例共有についても学術大会などで共有を進めたい。また、従前から開催している各種認定講習会を含む継続教育プログラムの実施により、基礎的な知識と技術を幅広い会員に習得して頂き、その専門性を高めていきたい。さらに、他の医療職種とのセミナーやシンポジウムを通じ、連携を深めることで、チーム医療の一環としてのタスクシェアが推進されると考える。

組織率の向上に関しては、会員向けの特典やサービスを拡充し、新たな会員の獲得を目指す。会員をはじめ、本会役員との定期的なコミュニケーションを通じて、ニーズを把握し、それに基づいた施策を展開する。また、ソーシャルメディアや各種イベントを活用したプロモーション活動により、技師会の活動と存在感を広く伝えることを検討したい。

この計画の実施と評価には、具体的な数値目標の設定、進捗の定期的な確認、年度末の成果評価が含まれる。これらのプロセスを通じて、診療放射線技師の専門性の向上と組織としての強化が図られる。また、これにより医療現場の効率化と患者ケアの質の向上に寄与することが期待される。以下に具体的な事業を挙げる。

多職種との連携

院内ではチーム医療を重視し、医師はもちろん、コメディカル同士の連携の重要性が述べられてきた。今後は職能団体の連携も強めていきたい。

1. 職業人としての質の向上

- (1) 学術大会・認定講習会・セミナーの定期開催
 - ア. 埼玉県診療放射線技師学術大会の開催
 - イ. 埼玉県診療放射線技師支部合同秋季大会
 - ウ. 胸部撮影認定講習会
 - エ. 上部消化管検査認定講習会
 - オ. フレッシュアップセミナー（SART セミナー）
 - カ. 放射線技術部門マネジメント・セミナー（医療安全、接遇・クレーム、医療経営人材育成）

- キ. CT 認定講習会
- ク. MRI 基礎講習会
- ケ. 乳腺セミナー
- コ. DR 計測セミナー
- サ. 救急撮影ケーススタディー（日本救急撮影技師認定機構との共催）
- シ. 読影力向上のための講習会（支部開催セミナー）
- ス. AI (Artificial Intelligence) 関連講習会の開催
- セ. オンラインセミナー、学会の充実およびデジタル化
- ソ. 業務拡大 2015 年統一講習会の継続および告示研修開催への協力
- タ. オンライン会議有効運用
- チ. 多職種職能団体との連携強化

(2) 会員講師の育成と体制づくり

(3) 他県診療放射線技師会や他団体との合同講習会企画推進

- ア. 関東甲信越診療放射線技師学術大会への協力
- イ. 日本診療放射線技師全国大会への協力
- ウ. 埼玉県医師会主催事業への支援
- エ. 埼玉県臨床検査技師会への協力
- オ. 日本放射線技術学会関東部会との合同企画
- カ. 日本診療放射線技師会との合同開催企画
- キ. 各認定機構との合同企画（埼玉開催の推進）

2. 組織運営に関わる事業

- (1) 行政との連携
- (2) 入会促進・会員継続事業の検討
 - ア. 各研究会と協力し、非会員である者の獲得
 - イ. 告示研修での技師会 PR 活動
- (3) 会員データベースの適正化

3. 公益目的事業

- (1) 学術情報の提供 刊行誌「埼玉放射線」の発刊
- (2) 市民公開講座の開催
- (3) 地域自治体主催事業への参画
- (4) 医療画像展の開催と支援
- (5) 県民向けホームページの充実
- (6) 医療被ばく相談の迅速な対応

- (7) 埼玉県内の中学高校における放射線特別授業・3DWSの担務
- (8) 文部科学省事業における放射線特別授業への協力

4. 編集・情報

- (1) 本会会誌「埼玉放射線」の充実
- (2) 診療放射線技師向けホームページの充実、各講習会、セミナー、イベントなどの迅速な広報
- (3) e-bookコンテンツの維持継続
- (4) メールマガジンの有効利用

5. その他

- (1) 他医療職種団体との連携
- (2) 日本診療放射線技師会・他県技師会への協力

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 定款

平成24年4月1日制定
平成27年5月30日改正

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を埼玉県さいたま市に置く。

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、診療放射線学の向上を図り、もって地域保健医療の向上及び県民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 県民への放射線医療に関する知識の普及啓発事業
 - (2) 診療放射線学及び診療放射線技師の職業倫理高揚に関する研修会、研究会、講習会などの開催
 - (3) 放射線管理と医療被曝の適正化に関する事業
 - (4) 診療放射線学に関する調査、研究、情報提供及び指導
 - (5) 前各号に掲げる事業に関する図書、印刷物等の刊行
 - (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業は、埼玉県内にて行うものとする。

第3章 会員

(種別)

第5条 この法人に次の会員を置く。

- (1) 正会員 診療放射線技師及び診療エックス線技師であってこの法人の事業に賛同して入会した個人
 - (2) 名誉会員 この法人に特に功労のあった正会員のうち、理事会の推薦を受け総会の承認を得た個人
 - (3) 賛助会員 正会員の資格を有しないもので、この法人の事業に賛同して、理事会の承認を得た個人又は団体
- 2 前項の会員のうち正会員及び名誉会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。

(会員の資格の取得)

第6条 この法人の会員になろうとする者は、理事会の定めるところにより申し込みをし、その承認を受けなければならない。

(経費の負担)

第7条 この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった次年度から毎年、会員は、総会において別に定める額を支払う義務を負う。ただし、自己の療養又は親族の介護、育児その他やむを得ない事情により、診療放射線技師又は診療エックス線技師として現に業務に従事していない期間が継続して1年以上経過している正会員については、総会において別に定める基準に従って経費を支払う義務を免除することができる。

2 名誉会員は、前項における経費を負担することを要しない。

(任意退会)

第8条 会員は、理事会において別に定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第9条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規則に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。

(会員資格の喪失)

第10条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第7条の支払義務を2年以上履行しなかったとき。
- (2) 総会員が同意したとき。
- (3) 当該会員が死亡、又は解散したとき。

第4章 総会

(構成)

第11条 総会は、正会員及び名誉会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。

(権限)

第12条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事の選任又は解任
- (3) 理事及び監事の報酬などの額に関する事項
- (4) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 解散及び残余財産の処分
- (7) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第13条 総会は、定時総会として毎事業年度終了後3箇月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第14条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 正会員及び名誉会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

(議長)

第15条 総会の議長は、当該総会において出席会員の中から選出する。

(議決権)

第16条 総会における議決権は、会員1名につき1個とする。

(決議)

第17条 総会の決議は、正会員及び名誉会員の議決権の過半数を有する会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、正会員及び名誉会員の半数以上であって、正会員及び名誉会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第20条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

- 第18条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。
- 2 議長及び出席した理事は、前項の議事録に記名押印する。

第5章 役員等

第19条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を会長とし2名を副会長、6名を常務理事とする。
- 3 前項の会長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の代表理事とし、副会長及び常務理事をもって同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

- 第20条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。
- 2 理事会は、会長、副会長及び常務理事を選定及び解職する。会長の選定及び解職をする場合において、理事会は、総会にこれを付議した上で、その決議の結果を参考にすることができる。

(理事の職務及び権限)

- 第21条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、副会長及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 会長、副会長及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

- 第22条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

- 第23条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 2 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第19条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第24条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

(役員報酬等)

第25条 理事及び監事に対して、総会において定める総額の範囲内で、総会において別に定める役員報酬などの支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

(相談役)

- 第26条 この法人に、任意の機関として、1名以上3名以下の相談役を置く。
- 2 相談役は、次の職務を行う。
- (1) 会長の相談に応じること。
- (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること。
- 3 相談役の選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 前条の規定は、相談役の報酬等について準用する。

第6章 理事会

(構成)

- 第27条 この法人に理事会を置く。
- 2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権 限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長及び常務理事の選定及び解職

(常務理事会)

第29条 この法人に常務理事会を置く。

2 常務理事会は、会長、副会長及び常務理事をもって構成する。

3 常務理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務運営の年間計画案を策定し、理事会に提出すること。
- (2) 業務の適正を確保するために必要な体制の運用及び改善についての意見を理事会に提出すること。

(招 集)

第30条 理事会及び常務理事会は、会長が招集する。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会及び常務理事会を招集する。

(決 議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(事業年度)

第33条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第34条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第35条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 損益計算書（正味財産増減計算書）
- (5) 貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、正会員及び名誉会員の名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事の名簿
- (3) 理事及び監事の報酬などの支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第36条 会長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第48条の規定に

に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする。

第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第37条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解 散)

第38条 この法人は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第39条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第40条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第9章 公告の方法

(公告の方法)

第41条 この法人の公告は、電子公告により行う。
2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法により行う。

第10章 支 部

(支 部)

第42条 この法人に、理事会の定めるところにより支部を置く。

- 2 支部は第34条の事業計画書に基づき、当該支部に関する事業を執行する。
- 3 支部は第20条第1項の規定により、総会で理事を選任するにあたり、理事候補者の推薦をすることができる。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 この法人の最初の会長は小川 清とする。
- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定などに関する法律の施行に伴う関係法律の整備などに関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第34条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 諸規程

会費規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第7条の規定に基づき、会費の納入に関し、必要な細則を定めるものとする。

第2条 会費は次のとおりとする。

正会員	年額9,000円
賛助会員（個人）	年額9,000円
賛助会員（法人）	年額25,000円

第3条 前条の会費は、毎事業年度における合計額の30%以上を当該事業年度の公益目的事業に使用する。

第4条 会員は、毎事業年度、9月30日までに、会費年額の全額を納付しなければならない。

第5条 定款第7条第1項ただし書きの規定により、会費の免除の取扱いを受けようとする者は、所定の申請書を添えて、毎年度、本会に申請するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の決定を経て総会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

この規程は、平成28年6月18日から施行する。

役員等の報酬並びに費用に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第25条に基づき、役員等の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員 理事及び監事をいう。
- (2) 役員等 役員及び会長から指名を受けた会員をいう。
- (3) 報酬等 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号に規定する報酬

等であって、次条及び第4条に規定するものをいう。

- (4) 費用 職務の遂行に伴い発生する交通費、通勤手当、旅費（宿泊費を含む。）及び手数料等の経費をいう。

(報酬の額及び支給の方法)

第3条

理事の報酬は、理事会及び常務理事会の出席1回につき2,000円を上限とし、理事会で決定する。

2 監事の報酬は、年額111,370円を上限として、監事が協議して定める額とする。

3 前2項の規定にかかわらず、当該役員が報酬を辞退した場合は支給しない。

4 報酬は、四半期ごとに現金で支給する。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(講師及び原稿執筆謝金)

第4条 役員等が会長よりセミナー、研修会若しくはシンポジウムなどの会合における講師を委嘱されたとき又は原稿執筆を委嘱されたときは、別に定める「役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程」に基づき講師謝金又は執筆謝金を支給する。

(費 用)

第5条 本会は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 前項の費用は、現金で支払うものとする。ただし、当該役員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支払うものとする。

(公 表)

第6条 この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項の規定により報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改正)

第7条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、会長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

附則

- 1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。
- 1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。

役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程
(本会主催の講師謝金)

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の役員等が、本会主催の講演会、セミナー又はこれに類する会合（以下「講演会等」という。）の講師を務めたときは、その謝金として、1回につきその時間が30分以内のときは5,568円、1時間以内のときは11,137円を、1時間を超えるときは22,274円を支払うものとする。

(原稿執筆謝金)

第2条 役員等が、本会の発行する定期刊行物又は書籍の原稿を当会員または日本診療放射線技師会会員が執筆したときは、1,000字毎に2,500円を限度として執筆謝金を支払うことができる。但し、1回の限度額を20,000円とする。

(支払い方法)

第3条 前2条の謝金は、当該講演又は入稿の後速やかに現金で支払うものとする。ただし、当該役員等から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(会員以外の者への謝金)

第4条 診療放射線技師以外の者が本会の発行する定期刊行若しくは書籍の原稿を執筆したときは、第2条に定める金額に100分の50を乗じた額を加算して支給する。

(改正)

第5条 この規程は、総会の議決によらなければ改正することができない。

(補則)

第6条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

- 1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。
- 1 この規程は、平成25年5月25日から施行する。
- 1 この規程は、平成30年6月18日から施行する。

講師謝礼に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）が主催する診療放射線技師または診療エックス線技師を主な対象者とした、職業倫理高揚及び診療放射線学の向上に関する研修会、研究会、講習会等（以下、「研修会等」という）の講師への謝礼について必要な事項を定めることを目的とする。

(謝礼の支払い)

第2条 謝礼は、研修会等1回ごとに、講師1人につき55,685円を上限として支払うものとする。

(旅費)

第3条 講師には、その自宅又は勤務地から研修会等の会場まで公共交通機関を使用した場合における交通費相当額を支給する。ただし、研修会等の会場の近辺に公共交通機関が存在しない等交通不便地の場合は、講師の自宅又は勤務地から当該会場に最も近い鉄道の駅までの交通費相当額に、当該駅から会場まで距離1kmごとに300円を乗じて得た額を加算して支給する。

(支給の方法)

第4条 謝礼及び旅費の支給日は研修会等の終了後とし、支給方法は所得税その他法令の規定に基づき控除すべき金額を控除し、その残額を現金又は当該講師の指定する銀行口座に振り込む方法により支給する。

(適用除外)

第5条 この規程は、本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合には適用しない。

2 本会の会員が研修会等の講師を勤めた場合の謝礼及び旅費に相当する金員の支給は、役員等への講師及び原稿執筆謝金の支払に関する規程に基づき支給するものとする。

(改正)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

(補則)

第7条 この規程の実施に関する必要な事項は、会長が理事会の承認を経て、別に定めるものとする。

附則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年5月8日から施行する。

旅費および日当等支払規程

(趣旨)

第1条 この規程は、委員会（編集委員会、学術委員会その他理事会の議決に基づき設置した委員会その他の組織をいう。以下同じ。）の会務（当該委員会の会議及び当該委員会の所掌する事務に関する活動であって、会長の許可を得たものをいう。以下同じ。）のために出張する当該委員会の構成員に支給する旅費及び日当について定めるものとする。

(旅費)

第2条 旅費は当該旅行のための移動方法の別にかかわらず、旅行開始場所から会務実施場所までの往復の旅程について、公共交通機関を用いて旅行した場合に生じる額を支給する。ただし、当該旅行の区間に公共交通機関による移動が不能な区間が含まれるときは、当該移動が不能な区間の旅費は、距離1kmごとに300円を乗じて得た額を支給するものとする。

第3条 会務に従事した場合は、当該委員会の構成員に日当を支給する。

2 前項の日当は、会務1日につき1,000円とする。ただし、会長が理事会の議決を経て定めたものについては2,000円とする。

第4条 旅費及び日当のほか、会務に関する学術大会、講習会等の開催及びその準備に係る役務費、消耗品

費その他の経費であって委員会の構成員が立て替えたものは別に弁償する。

第5条 経費は、その都度現金により支払う。ただし、当該委員会の構成員から支給の方法について書面による申し出があるときは、当該申し出に従って支給するものとする。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決により行う。

附則

この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

会員の登録等に関する規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第5条第1項、第6条及び第8条に基づいて、会員の入退会に関する細部手続について必要事項を定めることを目的とする。

第2条 本会に入会しようとする者は、診療放射線技師及び診療エックス線技師でなければならない。ただし、賛助会員はこの限りではない。

第3条 本会に入会を希望する者は、所定の入会申込書を会長に提出するものとする。

第4条 理事会は、入会申込書に基づいてその諾否を審査し、入会承認を決定するものとする。

第5条 入会を承認したときは、会員原簿に登録するとともに、速やかに入会年月日を本人に通知するものとする。

2 入会を否認したときは、その理由を付して本人に通知するものとする。

第6条 会員の資格は、理事会が承認した日に始まり資格喪失した日に終わる。ただし、定款第10条(1)の要件が発生したときは、理事会の承認を経て資格を停止し、出版刊行物送付等を制限することがある。

第7条 会員は、入会申込書記載の住所、氏名、勤務先に変更を生じたときは、速やかに届け出るものとする。

第8条 会員は次の特典を享受することができる。

(1) 本会が保有する会議室を優先して利用することができる。

(2) 本会が刊行する会誌を無料で配布を受けることができる。

(3) メールリングリストに登載し、メール等による情報提供を受けることができる。

(4) 本会が主催、共催する研修会、セミナー等に割引料金で参加することができる。

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付し、退会届を本会に届け出るものとする。

第10条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成24年12月5日から施行する。

役員選出規程

第1章 総 則

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の役員の選出は、定款第21条に基づき、この規程により行うものとする。

第2章 選挙管理委員会

第2条 役員を選出するときは、理事会の承認を得て、選挙管理委員会を設けるものとする。

第3条 選挙管理委員会は、正会員のなかから選出して構成し、委員長は互選とする。

2 役員及び選挙の立候補者は、選挙管理委員にはなれない。

第4条 選挙管理委員会は、次の業務を行う。

(1) 選挙の公示

(2) 役員の立候補者届の受理、資格審査及び立候補者氏名の公示

(3) 投票及び開票の管理ならびに当選の確認

(4) 総会において選挙結果の報告

(5) その他選挙管理に必要な事項

第5条 選挙管理委員の任期は2年とする。

第3章 役員の選挙

第6条 理事、監事に立候補しようとする個人、又は推薦しようとする支部は、所定の様式により選挙管理委員会に届け出るものとする。ただし、推薦の場合は本人の同意を必要とする。

第7条 立候補又は推薦の届出締切りは、総会の2か月前とする。

第8条 選挙は、立候補届のあった者について、総会に出席した会員によって行うものとする。

第9条 投票は、出席会員の無記名投票により行うも

のとする。

第10条 投票は、次の順序によって行う。

(1) 理事

(2) 監事

第11条 当選者は、それぞれ有効投票数を得た者から、高点順に定める。

第4章 無投票当選

第12条 各選挙を通じ、締切日を経過しても立候補者が役員定数を超えないときは、総会において無投票により当選者を定めるものとする。

第5章 異議申し立て

第13条 選挙に関する異議は、選挙終了後14日以内に選挙管理委員会に文章をもって申し立てることができる。

第6章 立候補ならびに当選の取消

第14条 役員立候補者が、選挙公報など選挙に関わる事項について、重大な虚偽の申告を行ったことが明らかになった場合は、選挙管理委員会の決議により立候補または当選を取り消すことができる。

第15条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

総会運営規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の総会運営を民主的かつ能率的に運営することを目的として定める。

第2条 前条の目的を達成するために、総会運営委員会を設けるものとする。

第3条 前条の委員会は、正会員のなかから6名の委員を選出して構成し、委員長は互選とする。

第4条 総会運営委員会は、総会の付議に基づき、次のことを協議し、その承認を得て運営する。

(1) 議長団の選出の方法

(2) 議事日程及び進行

(3) 総会出席会員の資格審査

(4) その他総会運営について必要な事項

第5条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

表彰規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条の事業を遂行するにあたり、顕著な功績のあった者の表彰に関する事項と、関係団体からの推薦依頼に関する諸条件について定める。

(条 件)

第2条 表彰の対象となる者は、次の各号に該当することを条件とする。

- (1) 本会に15年以上在籍し、かつ会費を完納している者
- (2) その他、会長が適当であると認めたる者

(種 類)

第3条 表彰に関する分類は次のとおりとする

- (1) 功労賞 本会に多大な貢献があった者、または本会役員の在任期間が4年以上を有している者
- (2) 学術奨励賞 保健医療に関する研究、発明、発見、考案を行った者
- (3) 学術新人賞 研究発表を積極的に行った概ね30歳未満の正会員
- (4) 叙勲、関係団体表彰候補
- (5) 永年勤続者
 - ア 20年以上放射線業務に従事した者
 - イ 40年以上放射線業務に従事した者
- (6) 特別賞 他の模範となる善行があった者

(推 薦)

第4条 受賞者の推薦は正会員又は名誉会員が行う。

(選 考)

第5条 選考は表彰委員会が行い、委員会は会長、副会長、総務常務理事、および会長委嘱者5名の計10名で組織する。なお、会長委嘱者と委員長は役員外とする。

(決 定)

第6条 表彰委員会は選考結果を理事会に答申し、決定は理事会にて行う。その他表彰に関する必要な事

項についても理事会において決定する。

(内 容)

第7条 表彰は表彰状と副賞を授与するものとする。

(実 施)

第8条 表彰の実施は総会時に行うものとする。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

表彰規程細則

(表彰の実施)

第1条 表彰に関わる旅費、交通費は旅費規程の対象外とする。

2 表彰者ならびに表彰の概要を本会会誌に掲載し広報する。

(予 算)

第2条 表彰に関する予算は当該年度の予算から充当する。

(表彰枠)

第3条 表彰の種類に関わる表彰枠は次のとおりとする。

- (2) 学術奨励賞 若干名
- (3) 学術新人賞 若干名

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成25年2月6日から施行する。

互助規程

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の相互扶助を図るために定めたものである。

第2条 前条の目的を達成するために、次の各号の事業を行う。

- (1) 会員に対する死亡弔慰金の給付

第3条 死亡弔慰金の金額は20,000円とする。

第4条 正会員の死亡退会の連絡を受けた場合、内容審査のうえ速やかに関係理事を通じて該当会員の遺族に給付金を支給するものとする。

第5条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事会において決定するものとする。

第6条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

委員会設置規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）の運営に必要な委員会の設置基準を定め、本規定をもって定款第4条に基づく事業を、会長の指示に基づき能率的に遂行するための組織を整えることを目的とする。

(委員会の種別)

第2条 この規程に基づく委員会は、常設委員会及び特別委員会とする。

2 常設委員会は、本会の管理業務又は定例の事業を担当するものとし、次の各号のとおりとする。

- (1) 総務・財務委員会
- (2) 学術委員会
- (3) 編集・情報委員会
- (4) 公益委員会

3 特別委員会は、本会の運営上臨時に派生する問題、又は特別の事業の必要に応じ、会長が理事会の議決を経て、これを設けるものとする。

(構成及び選任)

第3条 前条の各委員会は、委員長、副委員長及び、若干名の委員により構成される。

2 前条第2項各号に規定する常設委員会における委員長への就任は、会長の指名により、常務理事が、これを分掌する。

3 前条第3項に規定する特別委員会の委員長は、会長の指名に基づき、全理事のなかからこれを選任し理事会にて承認する。

4 各委員会の副委員長は、当該委員長の指名に基づき、全理事のなかから選出し、理事会において承認の上、会長がこれを委嘱する。

5 各委員会の委員は、正会員又は名誉会員から当該委員長が推挙し、会長が委嘱する。

(職務)

第4条 委員長は、当該委員会を代表し、その事務を総理する。

2 各委員は、当該委員長の求めにより、随時招集される所属委員会に出席し、付議事項の審議を行う他、委員長を補佐し、本会の事業計画の実行、又は問題の解決に努めなければならない。

3 委員長に不測の事態が起きた場合は、副委員長がその職務を代行する。

(委員会)

第5条 各委員会は、当該委員長が随時招集する。

2 各委員長は、委員会が開催される毎に、以下の内容について、簡潔明瞭な報告書（議事録）を作成し、これを会長及び、総務担当の常務理事（常務理事）に提出しなければならない。

- (1) 付議された事項
- (2) その審議内容
- (3) 審議結果

(理事会への報告)

第6条 各委員長及び、各委員長により分担指名された副委員長は、担当する管理業務又は事業の企画及び実施状況を理事会に報告しなければならない。

(規程の変更)

第7条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、状況により必要な事案が発生した場合は、会長が理事会に諮り定めるものとする。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

1 この規程は、平成26年9月4日から施行する。

研究会設置規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）定款第4条に基づき本会に研究会を設置する場合の手続きを定め、学術研究活動の促進を目的とする。

(定義)

第2条 この規程でいう研究会とは、前条に掲げた目的を達成するための学術研究を目的とする組織をいう。

(設置申請)

第3条 この規程に従い研究会の設立をしようとする正会員又は名誉会員は、研究会設置申請書（様式一研1）を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

(承認基準)

第4条 前条により研究会の設立承認をする場合、次の基準を満たしていなければならない。

- (1) 学問領域としての専門性と主体性、かつ社会性が認められること
- (2) 当該研究会の活動により県民が利益を得られること
- (3) 本会が認可する研究会の幹事及び主たる構成員は本会会員であること

(解散及び廃止)

第5条 研究会は、研究会解散届（様式一研2）を会長に提出し、自主的に解散することができる。
2 理事会は前項のほか、前条の基準を満たさないと判断した場合、研究会を廃止することができる。

(名称)

第6条 研究会は、その名称とともに本会研究会であることを称することができる。

(活動)

第7条 研究会は、目的を達成するために自主的に活動するものとし、概ね次の活動を行う。
(1) 研究会を開催する
(2) 研究成果を学術大会等に発表する

(報告)

第8条 研究会は、毎年の活動状況を総会に報告する。

(助成)

第9条 本会は、認可した研究会の発展向上を図る目的で、研究会からの申請により、理事会の承認を得て、助成を行うことができる。
2 助成の規模及び方法は別途理事会で定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は理事会の議決にて行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

技師会センター運営規程

第1条 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（以下「本会」という。）技師会センターは埼玉県診療放射線技師会事務所及び会議室で構成する。

第2条 この規程は、技師会センターの運用について規定する。

第3条 技師会センターの管理責任者は会長とする。会長はセンターの業務管理者を指名し、業務管理者がセンター運営業務を行う。

2 重要事項については理事会において審議する。

第4条 業務管理者はセンターの運営に関する全ての責任を有する。

(会議室の利用)

第5条 次に掲げる各号に適合する場合、会長の許可を得て技師会センターを利用することができる。
(1) 理事が主催する全ての会議、委員会、講習会等
(2) 本会会員が所属する団体で、会長が認めた会議等
(3) その他、会長が特に認めた会議、講習会等

(使用手続)

第6条 前条のうち(1)に該当する場合を除き使用する者は、使用責任者を定め、別に定める「技師会センター使用許可申請書」を3週間前までに、所定の使用料金を添えて提出し、会長の許可を得なければならない。

(使用の優先)

第7条 使用は本会事業に関するものを優先し、第5条の順とする。

(使用料及び使用時間)

第8条 使用料及び使用時間は、第5条の(1)に該当する場合を除き、下記の規定によるものとする。

2 使用時間の区分及び使用料は次に定めるとおりとする。

(1) 09:00~12:00	2,000円
(2) 13:00~17:00	2,000円
(3) 18:00~21:00	2,000円
(4) 09:00~17:00	4,000円
(5) 13:00~21:00	4,000円
(6) 09:00~21:00	5,000円

第10条 使用責任者は重大なる過失による使用中の火災設備等の毀損事故に対して責任を有するものとする。

第11条 この規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附 則

1 この規程は、公益社団法人の設立登記の日から施行する。

理事の職務権限規程

(目 的)

第1条 この規程は、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会(以下「本会」という。)定款第21条に基づき、本会の理事の職務権限を定め、公益社団法人としての業務の適法、かつ効率的な執行を図ることを目的とする。

(定 義)

第2条 この規程において、理事とは、理事並びに代表理事たる会長並びに、業務執行理事たる副会長及び常務理事をいう。

(法令等の遵守)

第3条 理事は、法令、定款及びこの法人が定める規範、規程等を順守し、誠実に職務を遂行し、協力して、定款に定める本会の目的の遂行に寄与しなければならない。

(理 事)

第4条 理事は、理事会を組織し、法令及び定款の定めるところにより、本会の業務の執行の決定に参画する。

(会 長)

第5条 会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 代表理事として本会を代表し、その業務を執行する。
- (2) 理事会を招集し、議長としてこれを主宰する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(副会長)

第6条 副会長の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 会長を補佐し、本会の業務を執行する。
- (2) 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(常務理事)

第7条 常務理事の職務権限は、別表に掲げるもののほか、次のとおりとする。

- (1) 理事会が決める担当業務を分掌し、執行する。
- (2) 副会長に事故あるとき又は欠けたときは、副会長の業務執行に係る職務を代行する。
- (3) 毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告する。

(細 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に必要な事項は、理事会の決議により別に定めることができる。

(改 廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の議決にて行う。

附 則

この規程は、平成24年12月5日から施行する。

別 表

理事の職務権限

決 裁 事 項	決 裁 権 者		
	会 長	副会長	常務理事
事業計画及び予算の案の作成に関する事	○		
事業報告及び決算の案の作成に関する事	○		
人事及び給与制度の立案に関する事	○		
重要な使用人以外の者の任用に関する事	○		
出張に関する事	○		
契約の締結	○		
支出			
一件 20 万円以上（理事会承認が必要）	○		
一件 20 万円未満	○		
一件 5 万円以下		○	○

別 紙

選挙立候補届

現住所

氏名

年齢

勤務先名および住所

年 月 日執行の

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事）
選挙に立候補します。

上記の通りお届けします。

年 月 日

氏名

印

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿

選挙候補者推薦届

候補者住所

氏名

年齢

勤務先名および住所

年 月 日執行の

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会（理事・監事）
選挙に上記の者を推薦します。

年 月 日

推薦者氏名

第○支部代表

印

（理事・監事）候補への推薦を受諾いたします。

年 月 日

候補者署名

印

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会選挙管理委員長 殿

互助給付金申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇支部理事 印

会員 氏に下記事項発生のため互助規程により見舞金を給付されるよう申請いたします。

記

勤務場所
氏名
当該事項
発生年月日
金額
理事の意見

会費免除申請書

申請日 年 月 日

※会費規程第5条により、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会費免除の申請をいたします

申請者会員番号	
申請者名	印
連絡先	〒 電話
申請代理者氏名	印
<small>書類により本人が申請できない場合、ご署名下さい。</small>	
会費免除申請理由	続柄 (1) 自己の療養 (2) 介護 (3) 育児 (4) その他 () ※該当する申請理由に○をつけて下さい。
休業期間	年 月 日～年 月 日まで ※ご職場に申請されている休業期間をお書き下さい。
休業証明書の確認	有 ・ 無

※免除の対象となるのは、毎年度の会費を納入期限までに納めている会員に限ります。また、申請時に当年度の会費が納入されている必要があります。
※本申請には休業期間を証明する書類が必要となります。

事務処理欄	
受付欄	
会費確認	

様式－研1

研究会設置申請書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の設置を申請します。

記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 研究会構成員－別添名簿のとおり
(本会会員と他の区別がわかるような名簿)
- 研究分野、内容 (具体的に)
- 研究会履歴
- 助成申請の有無

様式－研2

研究会廃止届

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 殿

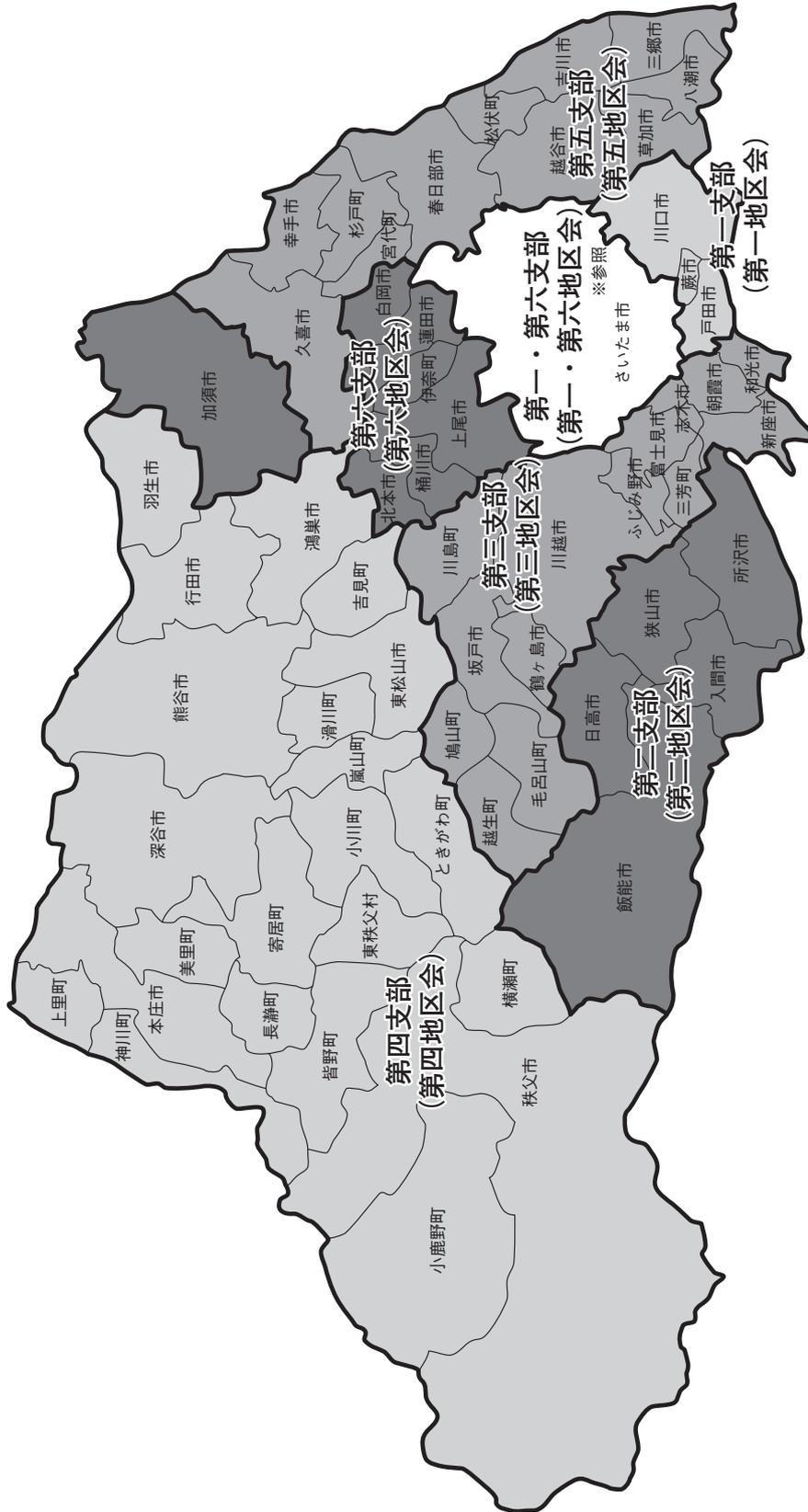
〇〇研究会
代表者 印

規程の定めるところにより、下記のとおり研究会の廃止を届けます。

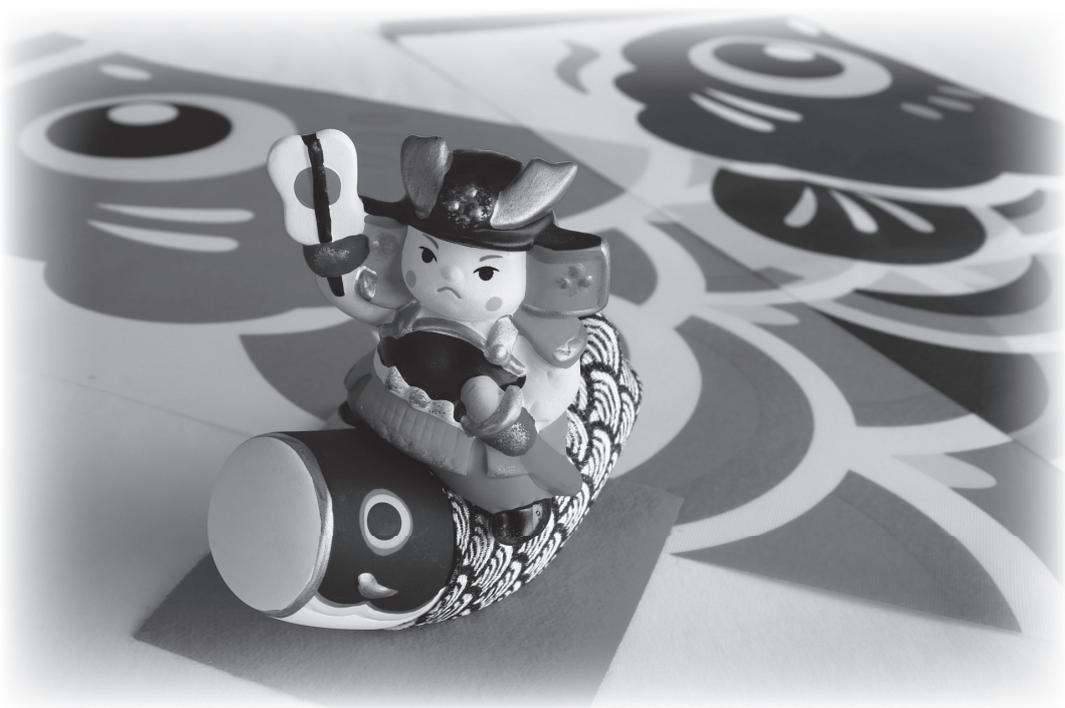
記

- 研究会の名称
- 代表者、役員等の名前
- 連絡先
- 廃止の理由
- 廃止の年月日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 支部地図 (2024年4月1日現在)



※ 第一支部 桜区・浦和区・南区・緑区
第六支部 上記以外のさいたま市内区



2024年度収支予算書

自2024年4月1日至2025年3月31日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

科目	公益目的事業会計			収益事業会計			法人会計	内部取引控除	合計	備考
	公1	公2	公3	共通	小計	取1				
I一般正味財産増減の部										
1.経常増減の部										
(1)経常収益										
受取会費	0	0	0	3,843,000	3,843,000		8,967,000		12,810,000	
正会員受取会費				3,753,000	3,753,000		8,757,000		12,510,000	
賛助会員受取会費				90,000	90,000		210,000		300,000	
事業収益	830,000	35,000	820,000	0	1,685,000	411,084	0		2,096,084	
講習会受講料等収益	380,000	35,000			415,000		0		415,000	
学術大会参加登録費収益	450,000				450,000		0		450,000	
会誌広告収益			820,000		820,000		0		820,000	
福利事業収益					0		0		0	
貸付収益					0	411,084			411,084	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0		0	
雑収益	280,000	0	30,000	0	310,000	0	173,300		483,300	
受取利息					0		100		100	
雑収益	280,000	0	30,000	0	310,000		173,200		483,200	
経常収益計	1,110,000	35,000	850,000	3,843,000	5,838,000	411,084	9,140,300		15,389,384	
(2)経常費用										
事業費										
給与手当	206,000	154,500	154,500	0	515,000		0		515,000	
福利厚生費	93,000	72,000	0		165,000		0		165,000	
会議費	136,000	40,000	135,000		311,000		0		311,000	
旅費交通費	838,500	197,000	54,000		1,089,500		0		1,089,500	
通信運搬費	316,335	127,001	780,201		1,223,537		0		1,223,537	
減価償却費	63,685	21,229	21,229		106,143	70,077			176,220	
消耗什器備品費					0		0		0	
消耗品費	113,574	96,391	56,158		266,123		0		266,123	
修繕費	30,000	30,000	30,000		90,000		0		90,000	
印刷製本費	8,000		3,093,640		3,101,640		0		3,101,640	
光熱水料費	63,000	21,000	21,000		105,000		0		105,000	
賃借料	944,625	110,000	84,964		1,139,589		0		1,139,589	
保険料	16,248	5,416	5,416		27,080		0		27,080	
諸謝金	1,174,681	119,513	132,000		1,426,194		0		1,426,194	
租税公課	18,690	6,230	6,230		31,150	27,000			58,150	
支払手数料	19,832	4,400	12,540		36,772		0		36,772	
渉外費	20,000	20,000	20,000		60,000		0		60,000	
委託費	0		237,600		237,600	25,000			262,600	
雑費	50,000	20,000	20,000		90,000		0		90,000	

埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステムのお知らせ

当会では、1954年からの会誌を電子ブック化（e-book）することになりました。
現在は、2000年まで閲覧できるようになっておりますが、順次拡大していく予定です。
当会ホームページ内、「埼玉県診療放射線技師会 電子ブックシステム」にアクセス（または下記URL、QRコード）していただき、ログインID・パスワードを入力の上、ご覧いただけます。
パスワードは毎年変更する予定となっており、今後、会員の皆さまには会誌でご案内させていただきます。

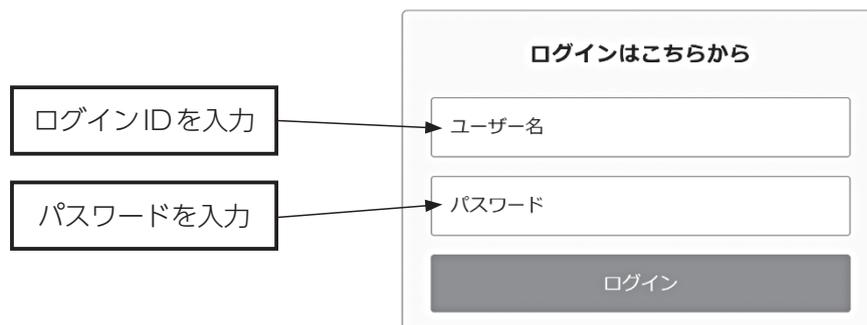
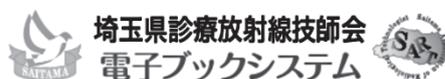
アクセスURL : <https://e-books.sart.jp/sart/login.html>



2024年度用

ログインID : sart_e-book2024

パスワード : sartmember2024



(公社)埼玉県臨床検査技師会主催の講習会を 診療放射線技師が会員価格で受講ができます。

このたび、職能団体のチーム医療を目的として、(公社)埼玉県診療放射線技師会と(公社)埼玉県臨床検査技師会で、お互いが企画する講習会を会員価格で受講することができる取り決めを行いましたのでお知らせ致します。

これまで職能団体の役員同士の交流はありましたが、会員同士の交流の機会はあまりありませんでした。最近では、診療放射線技師が心電図や血液データなどに興味を持ち、臨床検査技師の方が画像に興味を持っていると聞きます。そこでお互いの会員レベルの学術的交流を目的として企画致しました。

今後は、他職種との学術的な交流を深めるきっかけになればと考えております。



埼玉県診療放射線技師会 メールマガジンのご案内

当会では、イベントや勉強会情報があるときに、不定期でメールマガジンを配信しております。登録数は徐々に増えてきておりますが、まだまだ少ない状況です。そこで、今回このようなページを企画致しました。ご覧の皆さまには、ぜひ当会ホームページよりメールマガジンにご登録いただけますようお願い申し上げます（お名前とメールアドレスだけで登録できます）。

以下、No.93 で配信したメールマガジンの例です。多くの皆さまの登録をお待ちしております。

【埼放技メールマガジン】 No.93

▼編集情報委員会からのお知らせ▼

埼放技メールマガジンのご利用ありがとうございます。
学術案内などの日程を埼玉県診療放射線技師会HPに掲載しております。
<http://www.sart.jp/>

第35回日本診療放射線技師学術大会（埼玉県開催）
開催日：2019年9月14日（土）から16日（月・祝）
会場：大宮ソニックシティ

◆……【近日開催イベント・お知らせのご案内】……◆

- 平成31年4月16日（火）締め切り 告示（2019・2020年度 役員選挙について）
【支部】 <http://www.sart.jp/radiotech/branch/> からお進みください。
平成31年1月24日（木）第四支部勉強会のお知らせ
平成31年1月24日（木）第五支部情報交換会のお知らせ
【学術案内】 <http://www.sart.jp/radiotech/information/> からお進みください。
平成31年1月25日（金）第1回SART 学術ナイトセミナー～本当に理解している？ DR、CT の撮影条件と線量管理～
平成31年1月26日（土）平成30年度胸部認定試験開催のお知らせ
平成31年1月26日（土）第6回サイコメ実臨床セミナー「災害医療」一緒に学びませんか！
平成31年2月2日（土）第29回埼玉県大腸がん検診セミナー
平成31年2月2日（土）地元開催の全国大会で研究成果を発表しよう～研究発表支援セミナー～
平成31年2月9日（土）日本放射線公衆安全学会 第28回講習会 プログラム
改正RI法における医療現場の対応の最終準備
平成31年2月15日（金）第43回SAITAMA MRI Conferenceのご案内
平成31年2月22日（金）第75回埼玉CT Technology Seminar開催のご案内
平成31年2月24日（日）平成30年度SART TART 支部合同勉強会骨軟部撮影セミナー2019
【埼放技メールマガジン】
アドレスの変更・削除などは、以下のアドレスへご連絡ください。mail_magazine2007@sart.jp

賛助会員さまへのお知らせ

編集情報委員会常務理事

清水 邦昭

会誌「埼玉放射線」への“技術解説・広告”のご依頼

日ごろから埼玉県診療放射線技師会へのご支援・ご協力ありがとうございます。
“2024年度賛助会員さま”の特典の一つに、会誌「埼玉放射線」に技術解説・広告掲載があります。
会誌掲載投稿のお願いを申し上げます。詳細については以下に記します。

掲載内容：技術解説（製品紹介）A4 3頁 + 広告A4 1頁 = 計 4頁
会誌「埼玉放射線」発行月：1月・5月・7月・10月となります。

原稿締め切り：発行月1ヵ月前の第1月曜日までに電子メールでお送りください。
なお、掲載希望月は賛助会員さまでお決めいただき、あらかじめ電子メールにてお知らせください。
また、1企業さまにつき年度内に1回の掲載とさせていただきます。
(2024年7月・10月・2025年1月・5月発行月までに1回)

原稿詳細：以下に示します。

企画書および執筆要綱

埼玉放射線「技術解説（製品紹介）」
企画協力：(公社) 埼玉県診療放射線技師会 会誌「埼玉放射線」

企画意図

急速に進歩する医療業界においては、常に最新機器や医薬品・放射線被ばくの観点から、施設や線量測定技術などの情報、今後の動向を探ることが重要である。広い視野を持った業務遂行、被ばくに関する説明など、今後における業務の一助となることを目的とする。

対象読者

「埼玉放射線」の読者である(公社) 埼玉県診療放射線技師会の会員（診療放射線技師）、「埼玉放射線」の配布先関係者（発行部数1561部）。

「メディカルオンライン学会誌無料閲覧サービスについて」

編集情報委員会

常務理事 清水 邦昭

本会会員は、専用アカウント（ID／PW）を用いてメディカルオンライン無料閲覧サービスを受けることができるようになりました。

※メディカルオンライン（Medical Online）とは、医学論文をダウンロード提供する医療の総合ウェブサイト。医学文献の検索全文閲覧をはじめ、医薬品・医療機器・医療関連サービスの情報を幅広く提供する、会員制の医学・医療の総合サイト。

サービスの内容：メディカルオンラインで掲載の本会誌「埼玉放射線」（全文・アブストラクト）、および他学会誌アブストラクトを無料で閲覧・検索することができます。

2024年度アカウントについて

<～2025年3月末日まで有効>

学会さま専用ID：1100007180-09

パスワード：48kqr3x4

雑誌名：埼玉放射線

雑誌URL：<http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ew2saita>

貴会雑誌URLをクリックしますと、機関誌アーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記ID/PWご入力後、機関誌の閲覧が可能となります。

（添付：学会誌閲覧方法.pdfご参照）

*重要 アカウントの更新・移行期間に関して

専用アカウントは、1個発行し、年度ごと（4月～3月）で変更致します。

今回は、2025年2月上旬に新アカウントを事務局さま（本Mailアドレス）へご案内致します。

*メディカルオンラインでの検索は自由、アブストラクトは全誌閲覧可能です。

なお、埼玉放射線以外で全文ダウンロードボタンを押すと

「あなたは文献をダウンロードする権限がありません」と表示されます。

あらかじめご承知願います。

お知らせ

*メディカルオンラインご利用に際してのお願い

一定時間内に論文を大量にダウンロードする事は、会員規約で禁止事項としています。

◆メディカルオンライン会員規約◆

<http://www.medicalonline.jp/img/houjinkiyaku.pdf>

※大量ダウンロードが発生した場合

そのご利用端末に対し、最大で1時間の利用停止措置の案内がメディカルオンラインより自動配信されます。

配信後においてもさらに続きますと、メディカルオンラインのサーバーに必要以上の負荷が掛かるため本会専用アカウントの利用停止に至る場合があります。

株式会社メテオ

コンテンツ部

東京都千代田区神田須田町2-7-3

TEL : 03-5577-5877 FAX : 03-5577-5878



「新型一般撮影装置 RADspeed Pro SR5 Version」

～カメラ機能搭載による新たな可能性～

株式会社島津製作所
医用機器事業部 グローバルマーケティング部・加藤 拓真



■ 一般撮影装置 RADspeed Pro SR5 Version

当社の一般撮影装置「RADspeed Pro」は、パワーアシスト、オートポジショニング、上下連動や照射野追従などさまざまな機能を備え、高い操作性や検査の効率化などを提案し、多くの医療施設にて使用されている。一方で、医師や診療放射線技師に求められるタスクが年々高度化、複雑化しており、被検者に気を配りながらタスクを遂行していくことが難しくなっている。

今回、新たにコリメータに内蔵したカメラから得られる映像を、X線管懸垂器やX線高電圧装置の操作コンソール上のモニタに表示するカメラ機能「VISION SUPPORT™」を搭載した。また、ワイヤレスでのオートポジショニング・ばく射を可能とした。これら新機能を導入し、操作者の被検者へのケアとタスクの遂行の両立を支援する新製品「RADspeed Pro SR5 Version」を開発した(図1)。本稿では、各新機能について紹介する。



図1. RADspeed Pro SR5 Version

1) カメラ機能「VISION SUPPORT™」

当社は、「ライブビュー表示」、「体動検出」、「前回ポジション表示」と呼ぶ3つのカメラ機能を実現した。各機能について紹介する。

1-1) 被検者の正確なポジショニングを支援 「ライブビュー表示」



図2. ライブビュー表示機能

カメラから得られる映像をライブビュー表示することができる。そのライブビュー上に、直接確認にくいX線検出器領域(角枠と中心位置を示す小さな十字)、照射野領域(四角枠と中心位置を示す十字の中心鎖線)、AEC(Auto Exposure Control)採光野(塗潰された部分)(ただし、米国向けでは未対応)をオーバーレイ表示し、被検者の正確なポジショニングを支援する(図2)。撮影ワークフローとしては、操作者は検査室内にて、目視に加えX線管懸垂器の操作コンソール上の画面を確認しながら、被検者のポジショニングを調整する。そして、操作者は操作室にてX線高電圧装置の操作コンソール上のモニタから被検者

の相対的なポジショニングを確認した後、X線はく射する。この一連のワークフローにより、検査効率の向上を図る。

1-2) 被検者の体動による再撮影頻度を低減 「体動検出」

被検者の体動をカメラ画像上に表示し、ある一定の閾値以上の体動を検知した場合、メッセージを表示し、体動による再撮影の頻度を低減する(図3)。この閾値は、撮影プログラム毎に異なっており、操作者はプログラム毎に閾値の程度を大・中・小の3段階で設定することができる。

撮影のワークフローとしては、被検者をポジショニングした後、X線管懸垂器の操作コンソール上の画面での設定、もしくはワイヤレスハンドスイッチやワイヤレスリモコンから体動検出を開始する。そして、操作室にて操作コンソール上のモニタから体動の有無を確認し、問題なければX線はく射を実行する。逆に、体動が見られれば再度被検者のポジショニングを行う。このワークフローにより、再撮影頻度の低減を図る。



図3. 体動検出機能

1-3) 被検者のポジショニング修正を支援 「前回ポジショニング表示」

直前に行ったX線撮影時のカメラ画像を表示し、参照することで、再撮影時の被検者のポジショニングをよりスムーズに行うことができる(図4)。頸椎正面や肩関節正面などの再撮影が必要なケースにおいては、被検者は前回の再撮影時から体位を維持できず、体が動いてしまっていることがあ

る。本機能による前回ポジショニング表示を確認することで、再ポジショニングを行う際の参考とすることが可能になる。



図4. 前回ポジショニング表示機能

2) 検査効率の向上を支援するワイヤレスタイプのオートポジショニング用リモコン

赤外線方式のワイヤレスリモコンを採用し、受光部の付いたホルダーを検査室・操作室に設置することで、自由な持ち運びを可能とした(図5)。本リモコンでは、最大5つまでポジショニングを登録することができる。また、コリメータ制御も本リモコンから操作できるようになっており、照射野ランプのON・OFF、リーフの開閉が可能である。また1-2)でも述べたように、本リモコンから体動検出の開始を実行することができる。従来は有線式のリモコンを操作し、X線管懸垂器をオートポジショニングさせており、操作者はケーブルの取り回しに気を使いながらタスクを遂行する必要があった。また、従来の装置では照射野ランプのON・OFFを実行するために毎度検査室に入り、コリメータの照射野ボタンを押す必要があった。本ワイヤレスリモコンを用いることで検査効率の向上を図る。



図5. ワイヤレスリモコンとホルダー

3) 検査効率の向上を支援するワイヤレスハンドスイッチ

Bluetooth方式のワイヤレスハンドスイッチを

採用し、ハンドリングしやすくした。従来は、有線式であったことからケーブルの取り回しに配慮する必要があった(図6)。また、1-2)でも述べたように、本ハンドスイッチから体動検出の開始を実行することができる。通信先のホルダーを検査室内に設置することで、被検者の様子を確認しながら体動検出の開始をこのワイヤレスハンドスイッチにて設定し、操作室に移動した後、そのまますぐにX線ばく射操作が可能である。このように本ワイヤレスハンドスイッチを用いることで検査効率の向上を図る。



図6. ワイヤレスハンドスイッチとホルダー

操作者および被検者の負担を低減しつつ被検者の怪我や疾患をより安全かつ素早く診断できるように支援していく。

■ 終わりに

カメラ機能「VISION SUPPORT」を搭載し、ワイヤレスでのオートポジショニング・ばく射を可能とした。これら新機能を導入し、操作者の被検者へのケアとタスクの遂行の両立を支援する一般撮影装置「RADspeed Pro SR5 Version」を開発した。カメラを搭載したことで、検査室・操作室それぞれから被検者の様子を確認できるようになり、また数々のカメラ機能により、これまで以上に被検者をケアしながらタスクを遂行していくことが可能となる。また、ワイヤレスリモコン・ワイヤレスハンドスイッチを用いることで、ケーブルの取り回しを気にする必要がなくなり、被検者により集中できる環境となる。

これら新機能により、ケアとタスクの遂行の両立以外にも、これまで以上に検査の効率を上げることができ、結果として被検者の拘束時間短縮にもつながる。

当社は、AIやIoT技術を用いてX線撮影装置に新たな付加価値を提供する、「イメージングトランスフォーメーション (IMX) と名付けた戦略を推進している。IMXの一環として、これからも医療従事者の視点に立ったX線撮影装置を開発し、

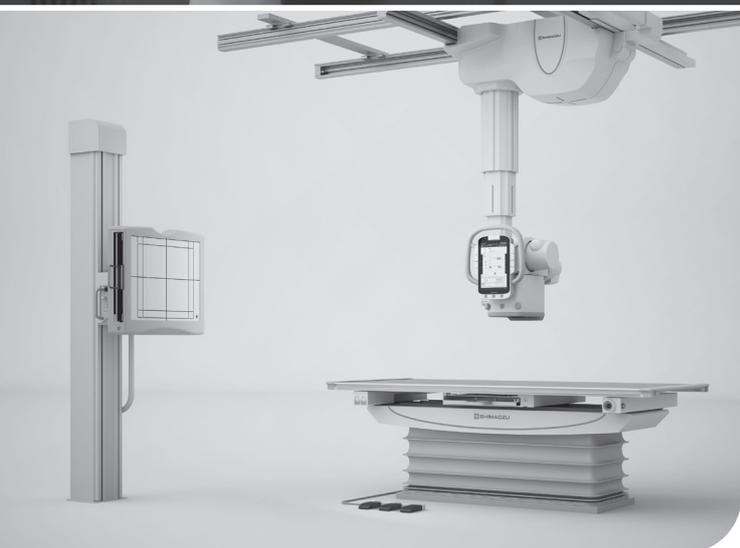
Empowering Your Vision

患者を見守るあなたをサポート

The Vision reflects New Possibilities

 **VISION SUPPORT**

コリメータに内蔵されたカメラから得られる映像を、X線管懸垂器操作部や高電圧発生器操作卓のモニターへ表示。患者ケアに集中できる環境をご提供します。



RADspeed Pro SR5 Version

診断用X線装置 [ラドスピードプロ]

Scan me, >



VISION SUPPORTはオプションです

製造販売承認番号 221ABBZX00210000
据置型デジタル式汎用X線診断装置、据置型アナログ式汎用X線診断装置、X線平面検出器出力読取型デジタルラジオグラフ
[診断用X線装置 RADspeed Pro] ※
特定保守管理医療機器
※本医療機器は複数の一般的な名称に該当します

「放射線診療における最新の被検者被ばく線量管理」

～ DX (Digital Transformation) がもたらすもの～

PDRファーマ株式会社

学術企画部 PET推進グループ 市川 勝久



1. 医療情報における国際標準のメリット

本邦の医療被ばく線量が他国に比して高いことを背景に、被検者の医療被ばく記録と管理の必要性が高まっている。日本医学放射線学会「診療用放射線にかかる安全管理体制に関するガイドライン」では医療被ばく線量の計算値、実測値を電子的に記録・管理することが推奨され、多くの医療機関ではCTや血管造影検査でその運用が普及しつつある。一方で核医学検査では、放射性薬剤の投与実測値の記録が、検査現場の作業を煩雑にしているため、多くの医療機関では、実投与量ではなく、製薬メーカーが提示する包装サイズ（検定時刻における MBq）を用いて、マニュアルでの運用を行っている。そのため、他の検査モダリティに比して電子的管理の普及が遅れているのが現状である。

CTなどのX線検査においては医療被ばく線量の記録と管理を電子的に行うための手段として、DICOM規格であるレポート形式RDSR (Radiation Dose Structured Report) が普及している。同様に核医学分野においてはRRDSR (Radiopharmaceutical Radiation Dose Structured Report) での記録が可能であるがその普及率は低い。RRDSRには放射性薬剤の投与量に関する情報が格納されており、基本的な情報は、誰に、どの薬剤を、いつ、どれだけ投与したのかが、決められたルールに則り記録されている。

またIHE (Integrating the Healthcare Enterprise : <https://www.ihe-j.org/basics/>) が示す国際標準フローでは、RDSRはREM (Radiation Exposure Monitoring) のデータフローで、RRDSRはREM-NM (Radiation Exposure Monitoring for Nuclear Medicine) のデータフローで扱われる。

Nuclear Medicine) 図1のデータフローで扱うことが指針として示されており、REMについては国内で既に広がりを見せている。

医療現場で使われる機器やシステムなどは、各ベンダにおいて特有の通信方法やフォーマットにより開発されるため、互換性（接続やデータ形式）に問題があった。一部の医療機関では互換性を保つために単一ベンダの機器・システムに揃える施設もあるが、IHEの指針に従って各ベンダが機器やシステムを開発することにより非互換性を回避することができる。REMやREM-NMは指針であると同時に医療機関での機器選択肢の拡大、データ共有、費用の削減に貢献している。

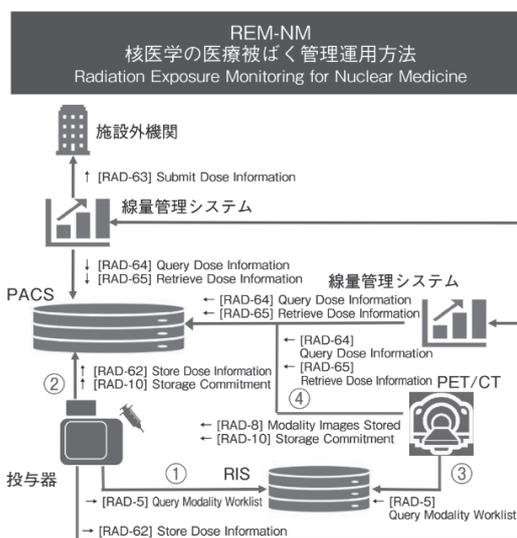


図1. REM-NMのデータフロー

2. REM-NMの情報発生源は投与装置

REMにおけるRDSRの発生源がX線照射機器であるのに対して、被検者に被ばくを与える機器がデータフローの発生源との考え方からREM-NMにおけるRRDSRの発生源は放射性薬剤の投与装置となる。国内では1994年からデリバリーPET製剤が発売され、それに伴い自動投与装置が多く

の医療機関で購入、使用されているが、RRDSRを出力する投与装置はほとんどないのが現状であった。PDRファーマ株式会社（以下PDR）は電子的に被ばく線量を記録・管理することで、検査現場の業務軽減、ヒューマンエラーの低減、費用削減に貢献すべくBridgea INJECTOR（自動投与装置）、Bridgea GATEWAY（データ通信ソフト）を販売開始した。Bridgea INJECTORはバーコードリーダーにより、国内デリバリーPET製剤容器にあるQRコードを読み取り、投与時刻における薬剤投与量をより正確に記録することができる。加えて被検者管理用のバーコードを読み取ることで誤投与の防止に役立てられている（任意選択）。Bridgea GATEWAYはBridgea INJECTORから送られてくる投与量情報とMWM接続されたRISからの被検者（検査予約）情報から、RRDSRを作成しPACSや被ばく線量管理システムに送信する。つまり、BridgeaシリーズはREM-NMにおけるRRDSRの発生源としての機能を有している。さらにBridgea GATEWAYから送信されるRRDSRをBridgea TIMER（検査現場における時間管理ソフトウェア）が受信することで、受付から投与、待機、撮像、退室まで、被検者一人ひとりの状態を視覚的に理解できる画面を表示することができる。Bridgea TIMERは複数のデバイス（iPad、Surfaceなど）で見ることができ、多くの医療機関では、放射線科受付、看護師、診療放射線技師、読影医師がBridgea TIMERで検査室の状態を同時に把握し、検査室の業務効率化、ヒヤリハット防止に役立てている。

3. 医療被ばく線量管理システム:onti

既存の被ばく線量管理システムの多くは、CT、血管造影（IVUS）、X線検査などに特化しており、核医学検査における被ばく線量管理はその機能が少なく、核医学検査は別のシステム、ソフトウェアを導入している施設が多い（または核医学検査はマニュアル管理）。

そこでPDRはRYUKYU社が開発した、核医学検査を含む多くの放射線診断モダリティに対応した被ばく線量システム「onti」の販売を開始した。

PET検査においては、Bridgea GATEWAYから直接、またはPACSを介してRRDSRをontiが

取り込み、検査ごとに被検者情報、投与量情報などをデータベース化する。合わせてPACS内の画像データも紐づけし、画質評価指標であるNEC（雑音等価計数）を算出することで、投与量（MBq/kg）と画質評価を個々の被検者で比較、評価することができる。データベース化されたonti内の投与量情報は、任意の条件（検査日、期間、年齢、性別、投与薬剤など）での母集団で統計解析を行うことができる。あらかじめonti内にある解析・レポート機能によって自施設の被ばく線量（投与量）箱ひげ図の作成、DRLsとの比較レポートの自動作成などが行える（図2）。

さらに、SPECT検査においてはontiポータブルでSPECT製品に貼付されているQRコードを読み取り、投与時に「投与ボタン」を押すことで、あらかじめMWMから得た被検者情報に紐づけて製剤名、投与量、投与時刻がontiに送信され、PET検査におけるBridgea連携と同様に電子的な被ばく線量の記録と管理が可能である。上記の通り、Bridgeaシリーズとontiを併用することで、今まで製薬メーカーの包装サイズで記録管理されていた被ばく線量が、投与時刻を考慮したより実投与量に近い値で、容易に管理することが可能である。データ転記のヒューマンエラー低減、業務の効率化は診療放射線技師の負担軽減に貢献できると考えている。さらにOntiは既存のシステムと同様に、核医学検査以外の放射線検査モダリティにおいても多くの機能を有している。CTにおいては、個人体格を考慮した線量指標（SSDE204、SSDE220、SSDE293）を瞬時に計算して記録・管理する。また迅速かつ簡便な始業点検（JIS規格に基づいた自動ROI解析と管理）も可能である。各検査モダリティの線量指標ではCTDIvol、DLP、DAP、Entrance Doseなどのさまざまな指標をontiのみで記録・管理することが可能である。

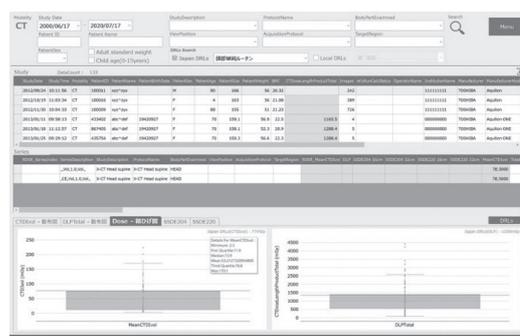


図2. onti Dose Data Analysesの一例
上段：管理画面（データベース）
下段：解析画面（箱ひげ図）

4. 放射線診断におけるDX (Digital Transformation)がもたらすものとは

医療機関の機器、システムが同じ規格で開発されれば、ベンダ間の非互換性を超えて医療機関は多くのメリットを得ることができる。また技術の進歩は、機器の更新や機能追加により被ばく線量の管理を容易にし、同時にヒューマンエラーリスク低減にもつながる。

今まで診療放射線技師個人に負担をかけていた被ばく線量管理業務は、日常検査を行うだけで記録・管理され、さらに集計、解析結果の見える化と情報共有がされるようになる。ただしDXとは単にこのように業務が変化することだけでなく、細心の注意を払っている診療放射線技師の時間と精神的負担を軽減することで、より高度な被検者管理（より適正な被ばく線量の考察、被検者の安心感の増加など）やタスクシフトによる業務拡大への対応、さらに『新たな気づき』につなげていただくことではないかと考えている。

Transformation（変形。変化。変質。変換）が単なる業務変化にとどまらず、診療放射線技師の院内外の立ち位置（期待度）の向上、変換になるよう、PDRが提案する薬剤、機器、ソフトウェア、システムが貢献できることを強く願っている。



onti®

医療被ばく線量管理システム



製造販売元

PDRファーマ株式会社

文献請求先及び問い合わせ先

TEL03-3538-3624

〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング

2023年度 MRI基礎講習会 (Web) の開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 学術委員 妹尾 大樹

埼玉県診療放射線技師会が主催したMRI基礎講習会は、昨年につきZoomを利用したオンラインセミナーとして、2023年12月16日(土)に開催されました。今回の内容は、過去2年間の試験問題に関する解説講義で、参加者は26人でした。

今回の講義では、過去の認定試験問題を分野別に3つに分け、各問題を3人の磁気共鳴専門技術者に解説していただきました。解説内容は、公開されている過去問題を分野ごとに1問ずつ詳しく解説していき、解答をより正確にするため、事前に埼玉県の認定技術者数名により回答が作成され、模範解答として提示されました。各講師のかたがたは非常に分かりやすく詳細にスライドを作成し、解説してくださいました。また、講義終了後には解説スライドを参加者の皆さまに配布し、アンケートでは、各解説について「非常に良い」「良い」との結果が得られ、受講者の皆さまに非常に満足いただけたかと思えます。

最後に、講師の皆さま、受講者の皆さま、協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

プログラム (敬称略)

2023年 12月16日 (土) 13:00~

13:40~14:40	問題Ⅰ 模擬試験解説	埼玉石心会病院	糸見 陽平
14:50~15:50	問題Ⅱ 模擬試験解説	埼玉医科大学国際医療センター	駒形 一成
16:00~17:00	問題Ⅲ 模擬試験解説	自治医科大学附属さいたま医療センター	綾部 佑介

2023年度 救急撮影ケーススタディ開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術理事 滝口 泰徳

2024年1月13日（土）に、2023年度救急撮影ケーススタディを開催し、14人の参加がありました。埼玉県診療放射線技師会では、救急撮影ケーススタディとして「1つの疾患に対して、身体所見、生理検査から総合的に画像検査を捉える」ことを目的にグループワークを含む講習会を行ってまいりました。しかし、ここ3年間は新型コロナウイルスの感染拡大の観点から、Web(Zoom)を用いたセミナーとなっておりましたが、今回はさいたま赤十字病院をお借りして、久しぶりに集合型でのグループワークを行いました。今回のテーマは「絶対に見逃してはいけない救急疾患」ということで、腹部領域を中心とした内容で、上腹部疾患と下腹部疾患に分けて行われました。どちらも開催後のアンケート結果では非常に高い満足度が得られており、今後も継続的に開催し、より多くの方に参加していただきたいと感じました。

最後になりますが、講師の皆さま、およびセミナーに参加していただいた皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

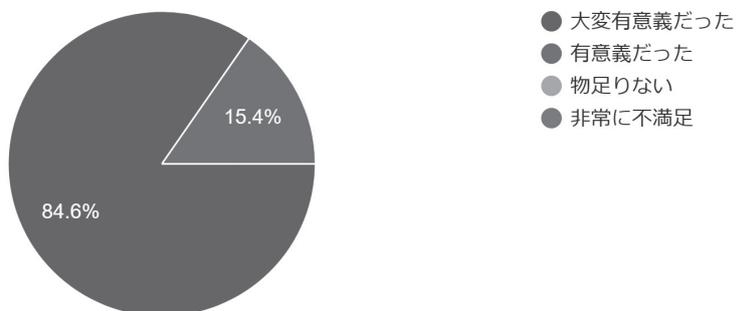
15：00～16：00	基礎から学ぶ！見逃してはいけない上腹部疾患	埼玉医科大学総合医療センター	大塚 和也
16：00～17：00	画像を読み解くPoint！～下腹部疾患～	上尾中央総合病院	市川 暁
	グループワークファシリテータ	上尾中央総合病院	茂木 雅和
		さいたま赤十字病院	池野 裕太
		埼玉医科大学総合医療センター	吉澤 孝郁
		埼玉医科大学病院	堀切 直也
		JCHO 船橋中央病院	滝口 泰徳



本会の動き

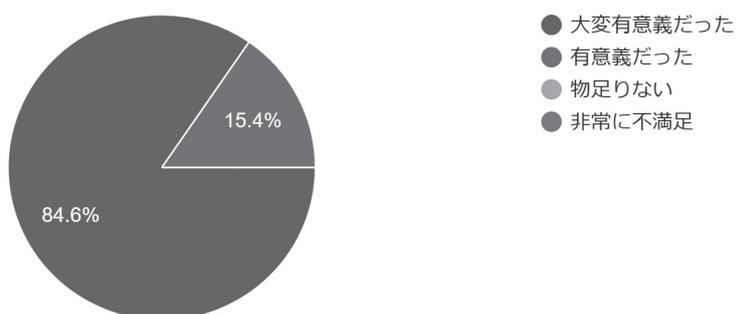
グループディスカッションについて以下より選択してください。

13件の回答



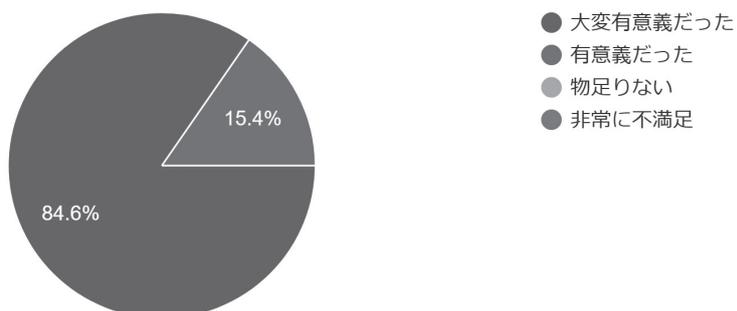
「基礎から学ぶ！見逃してはいけない上腹部疾患」について以下より選択してください。

13件の回答



「画像を読み解くPoint！～下腹部疾患～」について以下より選択してください。

13件の回答



2023年度 第21回 胸部認定試験 開催報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
学術委員 吉澤 孝郁

2024年1月14日（日）に埼玉県診療放射線技師会主催の第21回胸部認定試験がオンライン形式で開催されました。認定試験の受験者は17人でした。今年度もオンライン形式で開催しており、県内のさまざまな施設からの参加がありそのメリットであると感じます。

開催方法は昨年度同様、Zoomで受験者と通信を行ったまま、Webのアンケートサイトを用いた読影問題、および筆記問題を解答する方法をとりました。試験後の受験者のアンケートでは「講習会含めとても有意義な時間でした」や「認定講習会を通じて胸部単純撮影の奥深さと臨床現場での重要性を改めて学ばせていただきました」などの感想をいただき、今後もより内容を充実させつつ、事業を継続する必要があると感じました。また数年ぶりとなるA認定該当者がいました。認定者含め今後の活躍に期待したいと思います。

認定試験を行うにあたり、問題作成にご協力いただいた講師の先生方、オンライン開催に向けさまざまな意見を下さった学術委員、また受験いただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

認定試験の結果は以下の通りです。

【胸部認定】

A認定：三島 裕介（桜友会 所沢ハートセンター）

B認定：松倉 和久（済生会川口総合病院）

勅使河原 真由美（秩父臨床医学研究所）

峯村 祐美（埼玉医科大学総合医療センター）

立野 友香（上尾中央総合病院）

印田 起基（埼玉医科大学総合医療センター）

伊藤 涼香（済生会川口総合病院）

富田 剛史（埼玉県立がんセンター）

認定試験を合格者した方々には、各施設において撮影技術向上と精度管理の普及をお願いするとともに、放射線業務の質の向上に努めていただければ幸いです。

2023年度 第14回 CT認定試験開催報告

学術理事 中根 淳

2024年1月18日（木）、オンライン環境で第14回CT認定試験を開催しました。今回は、総勢6人の受験者が集い、例年通り筆記・読影・物理特性の3つの試験が実施され、各試験において70点以上の方が認定を取得致しました。

試験当日は、ページングによる読影においてリモートデスクトップアプリケーションなどを駆使し、従来の会場型試験と同等の環境を提供できるように努力致しました。接続トラブルが一部発生したものの、皆さまのご協力により、大きなトラブルなく試験を円滑に進行させることができました。

今後も、引き続きオンライン上での認定試験を実施してまいります。これからもより一層の発展を遂げ、参加者の皆さまにとって有益な経験となるよう取り組んでまいります。

最後に、認定試験の実現にあたり、問題作成にご尽力いただいた講師の先生に深く感謝申し上げます。また、受験いただいたすべてのかたがたに心よりお礼申し上げます。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

【CT認定者】敬称略

A認定：該当者なし

B認定：沼田 将太（西大宮病院）

三島 裕介（桜友会 所沢ハートセンター）

認定試験を合格されたかたがたには、各施設でCT検査の技術向上において中心的な役割を担っていただけたら幸いです。

2023年度 第21回 上部消化管検査認定講習会 開催報告

学術理事 浅見 純一

2024年1月21日（日）に2023年度 第21回上部消化管検査認定講習会を開催しました。今年度も前回と同様に完全オンライン形式での開催となりましたが、県外からの参加者もあり、オンライン開催によるメリットを感じました。申込者数は11人で、8人の方が全課程を聴講し修了されました。途中、通信障害や不手際によるプログラム変更でご迷惑をお掛けしたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。上部消化管検査は、撮影者の技術レベルやモチベーションにより画質が大きく左右される検査のひとつです。今後もより多くの方に興味を持っていただき、消化管検査全体がレベルアップできるような、充実した講習会を企画してまいります。

講習会のプログラムおよび講師は下記の通りです。

プログラム（敬称略）

開催日：2024年1月21日（日）

会場：Zoomを利用したオンライン講習

8：30～ 9：30	X線透視装置の基礎：画質：性能評価	浅見 純一（行田中央総合病院）
10：00～11：00	受診者管理（造影剤・検査説明・接遇・情報管理）	浅見 純一（行田中央総合病院）
11：10～12：10	上部消化管撮影技術	池田 圭介（済生会川口総合病院）
12：10～12：50	昼休み	
12：50～13：50	被ばく管理	志田 智樹（丸山記念総合病院）
14：00～15：00	上部消化管検査に必要な病理	今出 克利（大宮医師会）
15：10～16：10	上部消化管検査に必要な読影	今出 克利（大宮医師会）
16：20～17：20	精密検査法とレポート作成	大森 正司（さいたま赤十字病院）

終わりに、受講生の皆さま、講義を担当していただいた皆さまに、この場を借りて深くお礼申し上げます。

2023年度 乳腺セミナー 開催報告

学術担当 亀山 枝里

2024年2月18日（日）に2023年度 乳腺セミナーをさいたま赤十字病院で開催致しました。受講者は7人でした。

今回のセミナーはグループに分かれた実習形式で行い、精度管理・読影・ポジショニングの実践的な内容としました。受講者のかたがたは実習に積極的に取り組むことはもちろん、自主的に意見交換を行うなど、グループ実習ならではの光景も見られました。セミナー後のアンケートでは「日頃疑問に思っていることを解決できて良かった」「楽しかった」など、たくさんのご意見をいただきました。今後も日頃の業務に活かせる講習会を企画してまいります。

今回ご講演いただきました講師のかたがた、またご参加いただいた受講者の皆さまにこの場をお借りしてお礼申し上げます。

プログラム（敬称略）

開催日：2024年2月18日（日）

会 場：さいたま赤十字病院

9：00～ オリエンテーション

	実習① 精度管理	実習② マンモグラフィの読影	実習③ ポジショニング実習
9：10 ～ 10：10	A	—	B
10：10 ～ 11：10	—	B	A
11：20 ～ 12：20	B	A	—

担当講師

実習①：精度管理

済生会川口総合病院

土田 拓治

実習②：マンモグラフィの読影

小川赤十字病院

廣田 絵美

実習③：ポジショニング実習

さいたま赤十字病院

舘沼理保奈

第37回 埼玉県診療放射線技師学術大会開催報告

大会長 富田 博信
 実行委員長 中根 淳

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会を、2024年3月3日（日）に大宮ソニックシティで、久しぶりの会場型として開催致しました。今回の大会のテーマは、『『MANABI』求められる診療放射線技師をめざして』でした。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、過去数年間は完全オンラインまたはハイブリッド形式での開催が続いていましたが、今回は再び会場での開催を決定しました。

オンライン学会の定着が進む中、会場型開催に対する不安もありましたが、学術大会の本質的な意義である活発な議論を通じて、職場では得られない学びを提供することを目指しました。結果として、過去最高の43演題が一般演題として、13社が機器展示を行い、255人もの参加を頂きました。

主な大会内容は、さいたま赤十字病院放射線科部の前技師長である尾形智幸氏による「学びの機会」と、二宮病院の二宮淳先生による「乳腺診療のアップデート」の講演が行われました。さらに、「臓器別に考える乳腺」や、「症例検討会」「STAT画像」などの学術企画も開催され、会場内外での活発な討論や参加者同士の交流が行われました。

第38回埼玉県診療放射線技師学術大会は、2025年3月2日（日）に開催される予定です。皆さまのご参加をお待ちしています。

最優秀演題賞

19. 頭部単純CT検査の画像処理作業をAIへのタスクシフトの検証
 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 千葉 南

優秀演題賞

16. 逐次近似応用再構成法の違いが頭部CTAに与える影響
 埼玉医科大学病院 中央放射線部 黛 大葵
 20. 64列CT装置の高速撮影における撮影条件の組み合わせが画質に与える影響
 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 峯村 祐美

優良演題賞

8. 下肢長尺撮影におけるダイナミックレンジ圧縮処理の至適パラメータの検討
 上尾中央総合病院 放射線技術科 長内 俊樹
 23. 口腔領域における歯科用CTと医科用CTの画質比較
 埼玉医科大学総合医療センター 中央放射線部 坂巻 愛莉
 35. Saitama Stroke Network(SSN)における来院から治療までの迅速化に対する放射線科の工夫
 埼玉県済生会加須病院 放射線技術科 松崎 千波

本会の動き

本会の動き



開会式



第1会場



参加登録風景



第2会場



機器展示



閉会式



大会講演



実行委員の皆さま

ご寄付お礼

ありがとうございました。

叙勲受章者の堀江 好一さまより埼玉県診療放射線技師会へ10万円の寄付をいただきました。

厚くお礼を申し上げます。

第三支部



第三支部だより



第三支部理事 大友 正人

さわやかな五月晴れが続き、何をするにも心地よく感じられるこのごろ、いよいよご清栄のことと存じます。さて昨年度は新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことにより、Web開催や開催中止となっていた行事も徐々に現地に開催されるようになり、川越市健康まつりもウエスタ川越で開催され、医療画像展にもたくさんの方に足を運んでいただくことができました。

支部勉強会・定時総会も4年ぶりのウエスタ川越で開催致しました。参加者が減ってしまうのではないかとの懸念もありましたが、たくさんの方にお集まりいただき会員の皆さまと久しぶりに顔を合わせる事ができ、情報交換の場にもなったのではないかと思います。ご参加いただいた会員の皆さまありがとうございました。

納涼会・新年会などの親睦行事につきましては自粛とさせていただきます、2024年度も周囲の状況を見定めながら開催を検討していこうと思います。

【報告事項】

1. 第三支部定時総会・勉強会

(ア) 開催日程 : 2024年3月14日 (木)

(イ) 開催場所 : ウエスタ川越 活動室1

(ウ) 内容 : 定時総会・勉強会

・2023年度事業報告・2023年度決算報告・2024年度事業計画案

・2024年度予算案 ・2024年度役員改選

【メーカー講演】

・シーメンスCT最新情報

第109回RSNA最新報告、最新CT装置での働き方改革

シーメンスヘルスケア株式会社 CT事業部 中島 彩

【技師講演】

・緊急性の高い胸部疾患～大動脈解離～

埼玉医科大学病院 中央放射線部 長嶋 賢太

・「Dynamic Digital Radiography単純X線撮影は、動画撮影の領域へ」

埼玉医科大学病院 中央放射線部 関谷 陸

(エ) 参加人数 : 42人



各支部掲示板

2. 第4回川越市健康まつり実行委員会
 - (ア) 開催日程 : 2024年3月19日 (火)
 - (イ) 開催場所 : 川越市保健センター 2階
 - (ウ) 内容 : 振り返り・今後の実施方法について
3. 2024年度 第1回第三支部役員会
 - (ア) 開催日程 : 2024年4月
 - (イ) 開催場所 : 埼玉医科大学国際医療センター
 - (ウ) 内容 : 年間活動予定・勉強会について

【今後の予定】

1. 第1回川越市健康まつり実行委員会
 - (ア) 開催日程 : 2024年5月17日 (金)
 - (イ) 開催場所 : 川越市保健センター 3階
 - (ウ) 内容 : 第38回川越市健康まつりについて
2. 第三支部勉強会
 - (ア) 開催日程 : 2024年6月下旬
 - (イ) 開催場所 : 未定
 - (ウ) 内容 : 未定

※詳細が決まり次第、第三支部ホームページにてお知らせ致します。

第三支部の活動の詳細は、第三支部ホームページ (<http://saitama3shibu.jimdo.com/>) をご覧ください。

第四支部

第16回 行田市健康フォーラム 参加報告書

第四支部 大谷 智則

2024年3月17日（日）に行田市産業文化会館において「食べることは生きること」をテーマに、第16回行田市健康フォーラムが開催されました。

新型コロナウイルス感染症の影響によりしばらく中止になっており、多くの来場者がみえるか心配でしたが、第四支部催しの骨密度測定に66人の参加がありました。

これからもこのような活動を通して、診療放射線技師の職種・役割を広く知っていただき、多くのかたがたの健康維持のお手伝いできればと思います。



第16回 行田市健康フォーラム実行委員

氏名	施設名
大野 渉	羽生総合病院
柏瀬 義倫	深谷赤十字病院
高井 太市	小川赤十字病院
浅見 純一	行田中央総合病院
大谷 智則	行田総合病院

第六支部

～ Lock on ～

埼玉県診療放射線技師会

第六支部

- ・巻頭言
- ・支部役員退任あいさつ
- ・第六支部 2023年度 定期総会 開催報告書
- ・第六支部 第3回定期講習会 報告書

巻頭言

奮励努力

埼玉県立小児医療センター 木暮 萌絵

皆さんは5年間と聞き、どういう印象を持ちますか。短い、それとも長いでしょうか。私は就職して5年が経過し、今年で6年目になります。振り返るとあっという間でしたが1年目の頃を思うと結構経ったという印象もあります。しかし長い目で見ると技師歴5年は短く、転職しない限り後数十年は放射線技師として働くことになります。学生のころと違って定期的な試験や行事もなく言ってしまう毎日同じ日々です。その中でどのような日々を送るべきか私は少し悩んでいました。

5年目になった昨年、私は新たにCT検査と核医学検査の業務も行うようになりました。CT検査は夜勤帯にも行うので抵抗感はありませんでしたが、核医学検査は学生時代、座学で学んだのが最後でした。学んだ内容はほぼ忘れてしまっており、どういう流れで検査を行っているのかも分かりませんでした。そのため核医学検査に携わると決まった時、1から勉強しなおそうと思い教科書を読みましたがそこに記載されているのは一般的な検査内容、薬剤の集積機序などでした。しかし実際に核医学検査を行うようになって難しいと感じたことは薬剤の準備や針操作、また解析して得られる画像が臨床上あり得ない結果になっていないだろうかということでした。

このように放射線技師として実際に働いてみると教科書には載っていない手技や接遇などで悩むことがあると思います。また普段あまり携わっていないからこそ、いざという時に押さえておきたいポイントを知りたいということや就職して数年後に新しいモダリティに配属され、初歩的なことから学びたいということがあると思います。そういう時はぜひ各支部で行われている講習会に参加してみてください。さまざまな段階を対象とした講習会を行っているため自分の必要としている講習会が見つかると思います。私自身も長い技師人生、より豊かなものにするために学び続けていきたいです。

支部役員退任あいさつ

このたび第六支部役員を退任することとなりました。2年間学術担当として講習会の運営や座長など貴重な経験をさせていただきました。短い期間ではありますが会長はじめ役員の皆さまにお力添えいただいたこと、心より感謝申し上げます。

彩の国東大宮メディカルセンター 小保方 駿

4年間にわたり広報を務めさせていただきました。着任当初はまだコロナ禍ということもありオンラインのみでの活動でしたが、任期後半あたりから講習会など実地開催をしていただき、他施設のかたがたとの交流などとても貴重な経験をさせていただきました。会長はじめ役員の皆さまには大変お世話になりました。今後は技師会の一会員として第6支部の活動を応援させていただきます。4年間ありがとうございました。

さいたま北部医療センター 吉井 肇

4年間、総務として務めさせていただきました。会長をはじめ役員の方には大変お世話になりました。3年間はWeb上での集まりとなり総務としてできることは少なかったですが、とても貴重な経験をさせていただきました。

これからも積極的に技師会の活動に参加していきたいと思えます。

丸山記念総合病院 野口 裕輔

2年間第6支部の役員を務めさせていただきました。至らぬ点も多くありましたが他施設の方との交流や情報を知ることができ貴重な経験をさせていただきました。その経験を日常の業務に生かしていきたいと思えます。また、今後も一会員として第6支部の活動に参加させていただきたいと思えます。2年間ありがとうございました。

埼玉県立小児医療センター 畠山 祥一

1年間、会計を務めさせていただきました。至らぬ点も多く、会長をはじめ役員のかたがたには大変お世話になりました。異動により1年間という短い期間しか6支部の役員として活動することができませんでしたが、貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

埼玉県立小児医療センター 木暮 萌絵

2023年度 定期総会 開催報告書

報告書作成者：第六支部理事 仲西 一真

日時

開催日時：2024年3月22日（金） 19：00-19：30

支部会員数と出席者数

会員数：349人

総会出席者：26人

委任状提出者：185人

総会成立

支部規約第8条の規定により、会員の過半数を超えたため、総会は成立しました。

事業報告と収支報告

2023年度の事業報告では、支部の活動内容や成果を詳細に説明しました。

収支報告では、経費と収入の詳細を示し、支部の財政状況を報告しました。

監査報告

2024年1月23日に支部監査を実施し、事業執行と会計状況を確認しました。

事業執行に不適切な内容は認められず、会計状況も指摘すべき事項はありませんでした。

2024年度の事業予定案

定期講習会や納涼会など、支部の活動計画を説明しました。

予算案

2024年度の予算案を提示し、支部の運営に必要な経費を計画しました。

運営方針

講習会を集合形式で開催し、新人や若手が発表経験を積める場を提供します。

小規模な支部であることを活かし、参加者が活発な意見交換を行える場所にします。

来年度からは納涼会や忘年会を再開し、支部会員同士が交流できるようにします。

第3回定期講習会 報告書

報告書作成者：上尾中央総合病院 上原 雅人

日 時：2024年3月22日（金）19：35-20：45

会 場：さいたま赤十字病院 2階多目的ホール

参加人数：26人（役員・演者含む）

上腹部MRI攻略ガイド

上尾中央総合病院 木下 友都

他の撮影部位に比べて難易度が高いイメージがあるという上腹部MRI検査について、演者自らの経験を踏まえたポイントや若手技師へのアドバイスが述べられた。さまざまなシーケンスを組み合わせることで鑑別診断や治療方針を決める重要な情報が得られるMRI検査において、それぞれの特徴・役割を理解し、パラメーター設定による変化や呼吸を上手にコントロールすることで情報量の多い画像を撮影できるという講演であった。

近年コロナによりWeb開催が続いていたが、今年度の定期講習会は3回いずれも集合型で開催した。さまざまな施設から多くの方にご参加いただき、実際に顔を合わせて意見を交えることで賑わいのある講習会となった。来年度も集合型での開催を予定しており、新人・若手技師が発表経験を積む場所となるべく、小規模であることを活かした活発な意見交換が行える講習会を目指していきたい。

求人コーナー

本会は、求人情報の掲載のみで、雇用内容に関するお問い合わせは受けておりません。また雇用契約に一切関わっておりません。

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会発行の会誌「埼玉放射線」で、診療放射線技師の求人コーナーを掲載しております。次の掲載要項をご理解の上、申し込みくださるようお願い申し上げます。

掲載要項

発行部数：約1560部

発行エリア：埼玉県内

発行月：1・5・7・10月下旬

原稿締切日：発行月の1カ月前の1日

申込方法：求人広告掲載申し込み用紙でFAX、または同項目を記載し電子メールにて申し込み。

法令により年齢や性別に関する記述はできません。

掲載可否：後日担当者より連絡

掲載料：1回1万円

振込先：掲載決定後にご連絡

求人広告掲載申し込み FAX 用紙

施設名	
住所	
担当者氏名	
TEL	
FAX	
E-mail アドレス	
募集対象者	
雇用形態	
業務内容	
待遇	
勤務時間	
休日	
募集人員	
宿舍の有無	
社会保険など	
応募方法	
その他	

FAX 送信先 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
FAX 番号 048-664-2733
電子メールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

2023年度 第2回常務理事会議事録

日時：2023年10月5日（木）19：00～20：30

場所：ZoomによるWeb会議

出席者：会長：富田 博信

副会長：潮田 陽一、城處 洋輔

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

佐々木 健、中根 淳、

清水 邦昭、滝口 泰徳

監事：田中 宏、浅野 克彦

印番号5-19)

イ. 9月22日（金）に発送した。

(4) MRI基礎講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者3人に対して、委嘱状を作成した。（公
印番号5-20）

イ. 9月22日（金）に発送した。

(5) 2023年度会議予定

日時	イベント名	備考欄
2023/10/26（木）	第5回常務連絡会	
2023/11/ 2（木）	第6回理事会	
2023/12/ 7（木）	第3回常務理事会	
2023/12/28（木）	第6回常務連絡会	
2024/ 1/ 4（木）	第7回理事会	
2024/ 2/ 1（木）	第4回常務理事会	
2024/ 2/29（木）	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7（木）	第8回理事会	

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議長：富田 博信

議事録署名人：富田 博信、浅野 克彦

議事録作成人：八木沢英樹 と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長（富田）

(1) 浅野監事が埼玉県大野知事の秘書に就任した。

ア. 10月15日（日）に大野知事との面談を予定している。

(2) あげもと代議士を励ます会に出席を予定している。

ア. 日程：2023年10月20日（金）

2. 副会長（潮田）

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2023年9月28日（木）

3. 副会長（城處）

報告事項なし

4. 総務（今出）

(1) 胸部認定講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。（公
印番号5-17）

イ. 9月11日（月）に発送した。

(2) CT認定講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者6人に対して、委嘱状を作成した。（公
印番号5-18）

イ. 9月19日（火）に発送した。

(3) 第一支部勉強会の委嘱状の発送について

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。（公

5. 総務（八木沢）

報告事項なし

6. 編集情報（清水）

(1) 会誌

ア. 会誌埼玉放射線2023年10月274号

原稿締め切り：2023年9月1日（金）済み
現在再校正中

イ. 内容

(ア) 学術大会抄録集

(イ) 学術委員企画 臓器別に見る

(ウ) 技術解説

a. 富士フィルムメディカル

b. GEヘルスケア・ジャパン

ウ. 会告

エ. 本会の動き

(2) その他

ア. 会誌埼玉放射線2024年1月275号 12月1
日（金）締め切り

(ア) 巻頭言：城處 洋輔 副会長

(イ) コラム：八木沢英樹 常務理事

滝口 泰徳 常務理事

(ウ) 学術大会抄録集

(エ) その他

(3) 委員会開催

ア. 第1回編集情報委員会2023年7月13日(木)

Zoomにて

(ア) 会誌ヒアリング

(イ) 理事会報告

イ. 第2回編集情報委員会2023年8月23日(水)

技師会事務所にて

(ア) 会誌契約について

(イ) 巻頭言・コラムの順について

(4) 会誌発行部数1580部

(5) 巻頭言について

委員会で検討した結果、下記の順番(HP、会誌の名簿順)で依頼することと決定した。

2023年10月号 潮田 陽一 副会長 済み

2024年 1月号 城處 洋輔 副会長

2024年 5月号 中根 淳 常務理事

2024年 7月号 今出 克利 常務理事

2024年10月号 佐々木 健 常務理事

2025年 1月号 清水 邦昭 常務理事

2025年 5月号 富田 博信 会長

(6) コラムについて

委員会で検討した結果、下記の順で2人ずつ依頼することと決定した。

2024年1月号から実施。

八木沢英樹 常務理事

滝口 泰徳 常務理事

2024年5月号

肥沼 武司 理事

近藤 敦之 理事

2024年7月号

浅見 純一 理事

吉田 敦 理事

2024年10月号

紀陸 剛志 理事

佐藤 吉海 理事

2025年1月号

大西 圭一 理事

大友 正人 理事

2025年5月号

大野 涉 理事

矢崎 一郎 理事

2025年7月号

仲西 一真 理事

八木沢英樹 常務理事

(7) 2024年・2025年の会誌契約書を2023年11月1日付けで交わす。(手続き済み)

内容は前回理事会報告通りまた、ページの最適化も大まかなところは行っていただくこととなった。

(8) Webサイト掲載および更新(会員用)

ア. 第30回CT関連情報研究会

イ. 第7回埼玉乳房画像研究会講習会

ウ. サーバーメンテナンスのお知らせ

エ. 第37回埼玉県診療放射線技師学術大会

オ. 2023年度埼玉県診療放射線技師会第一支部第1回勉強会

カ. 第114回埼玉CTTechnologySeminar開催のご案内

(9) Webサイト掲載および更新(一般用)

ア. サーバーメンテナンスのお知らせ

(10) WP・PHPバージョンアップ

ア. 日時:2023年10月6日(金)

0:00~12:00(予定)

イ. 内容:本サーバーへの反映作業、エラーチェック(1010)

(11) メールマガジンNo126配信

7. 学術委員会(中根)

(1) 第8回Freedセミナーを開催した。

ア. 日程:2023年9月9日(土)

イ. 会場:埼玉県診療放射線技師会事務所

ウ. 参加人数:8人

(2) 第5回事前学術委員会を開催した。

ア. 日程:2023年9月26日(火)

イ. 会場:ZoomによるWeb開催

ウ. 参加人数:5人

(3) 2023年度第8回DR計測セミナーを開催予定である。

ア. 日程:2023年10月7日(土)

イ. 会場:埼玉県済生会川口総合病院

(4) 第8回SART学術ナイトセミナーを開催予定である。

ア. 日程:2023年10月19日(木)

イ. 会場:ZoomによるWeb開催

(5) 企画中の講習会およびセミナーについて

ア. 胸部認定講習会

イ. 上部消化管認定講習会

ウ. CT認定講習会

工. 乳腺セミナー

オ. 救急撮影ケーススタディー

(6) 学術大会プログラム委員会を開催予定である。

ア. 日程：2023年12月4日（月）

イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所

8. 学術委員会（滝口）

報告事項なし

9. 公益（佐々木）

(1) 「リアル仕事と体験」が満席となった。

ア. 開催日程：2023年12月1日（金）

イ. 対象：中学生・高校生

第3. 審議・承認事項

(1) 常理-3

ア. 起案者：清水 邦昭（編集情報常務理事）

イ. 案件：2024年埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新委託について

ウ. 当会ホームページの更新委託の契約が12月で満了となる。2022年に結んだ契約と同等条件で見積もりを出してもらった。2023年は十分な見積もり期間がなかったということで、特別に2022年と同額で委託契約をしていただいた。2024年は2023年と同額ではできないと言われていた。結果は添付の見積もり通りとなっていて、承認は11月2日の理事会で得たい。

資料を基に説明があり、審議の結果、継続審議することになった。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	2024年埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新委託について	あり	6	0	継続審議	なし	常理-1

配布資料（メール配信を含む）

(1) 会長資料

(2) 総務資料

(3) 編集情報資料

(4) 学術資料

(5) 財務資料

(6) 議案書

(7) 前回議事録

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

2023年12月7日（木）

議事録署名人 富田 博信（押印略）

浅野 克彦（押印略）

2023年度 第6回理事会議事録 (抄)

日 時：2023年11月2日 (木) 19:00~20:30

場 所：Web開催 (Zoom)

出席者：会 長：富田博信

副 会 長：潮田 陽一、城處 洋輔

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

清水 邦昭、佐々木 健、

滝口 泰徳

理 事：肥沼 武司、吉田 敦、

近藤 敦之、浅見 純一、

紀陸 剛志、佐藤 吉海、

大西 圭一、大友 正人、

大野 涉、仲西 一真

監 事：田中 宏、浅野 克彦

顧 問：小川 清

欠 席 者：中根 淳、矢崎 一郎、

鈴木 正人

イ. 日程：2023年10月30日 (月)

3. 副会長 (城處)

報告事項なし

4. 総務 (今出)

(1) 胸部認定講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-17)

イ. 9月11日 (月) に発送した。

(2) CT認定講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者6人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-18)

イ. 9月19日 (火) に発送した。

(3) 第一支部勉強会の委嘱状の発送について

ア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-19)

イ. 9月22日 (金) に発送した。

(4) MRI基礎講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者3人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-20)

イ. 9月22日 (金) に発送した。

(5) 上部消化管検査認定講習会の委嘱状の発送につ
いてア. 該当者5人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-21)

イ. 10月6日 (金) に発送した。

(6) 救急撮影ケーススタディーの委嘱状の発送につ
いてア. 該当者2人に対して、委嘱状を作成した。(公
印番号5-22)

イ. 10月6日 (金) に発送した。

(7) 第37回川越市健康まつりの委嘱状の発送につ
いてア. 該当者10人に対して、委嘱状を作成した。
(公印番号5-23)

イ. 10月23日 (月) に発送した。

(8) 役員登記が完了した。

ア. 司法書士石川重夫事務所より、10月26日
(木) に登記書類が届いた。

イ. 請求額：66,890円

第1. 議事録作成人、議事録署名人の選出について

議 長：富田 博信

議事録署名人：富田 博信、田中 宏

議事録作成人：八木沢英樹 と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長 (富田)

(1) 2024年3月SART学術大会に、診療放射線技
師連盟ブースを設ける。(2) 10月15日 (日) 大野理事と面談を行った。
埼玉県診療放射線技師会について報告を行った。
参加者：富田会長、城處副会長、滝口常務理事、
田中監事(3) 役員研修会：「埼玉県診療放射線技師会5~10
年後 (短期・中期) のビジョン」
内容で行いたい。

会員のために何ができるか？

役員のため成長のために何をするか？

1~2年の事業を振り返り、できたこと、でき
なかったことの反省で会の成長を促す

2. 副会長 (潮田)

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2023年9月28日 (木)

(9) 今後の会議・イベント予定

日時	イベント名	備考欄
2023/11/ 2 (木)	第6回理事会	
2023/12/ 7 (木)	第3回常務理事会	
2023/12/28 (木)	第6回常務連絡会	
2024/ 1/ 4 (木)	第7回理事会	
2024/ 2/ 1 (木)	第4回常務理事会	
2024/ 2/29 (木)	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7 (木)	第8回理事会	

5. 総務 (八木沢)

2024年1月12日 (金) 「新春の集い」

参加登録は事前登録制となります。(参加人数160人まで)

詳細は、会誌・ホームページに掲載致します。

6. 編集情報 (清水)

(1) 会誌

会誌埼玉放射線：2024年1月275号

原稿締め切り：2023年12月1日 (金)

巻頭言：城處 洋輔 副会長

コラム：八木沢英樹 常務理事

滝口 泰徳 常務理事

内容

ア. 学術大会抄録集

イ. その他

(2) 委員会開催

ア. 第1回編集情報委員会

2023年7月13日 (木) Zoomにて

(ア) 会誌ヒアリング

(イ) 理事会報告

イ. 第2回編集情報委員会

2023年8月23日 (水) 技師会事務所にて

(ア) 会誌契約について

(イ) 巻頭言・コラムの順について

(3) 会誌発行部数1580部

(4) 巻頭言について

委員会で検討した結果、下記の順番 (HP、会誌の名簿順) で依頼することと決定した。

2023年10月号 潮田 陽一 副会長 済み

2024年 1月号 城處 洋輔 副会長

2024年 5月号 中根 淳 常務理事

2024年 7月号 今出 克利 常務理事

2024年10月号 佐々木 健 常務理事

2025年 1月号 清水 邦昭 常務理事

2025年 5月号 富田 博信 会長

(5) コラムについて

委員会で検討した結果、下記の順番で2人ずつ依頼することと決定した。

2024年1月号から実施。

2024年1月号

八木沢英樹 常務理事

滝口 泰徳 常務理事

2024年5月号

肥沼 武司 理事

近藤 敦之 理事

2024年7月号

浅見 純一 理事

吉田 敦 理事

2024年10月号

紀陸 剛志 理事

佐藤 吉海 理事

2025年1月号

大西 圭一 理事

大友 正人 理事

2025年5月号

大野 涉 理事

矢崎 一郎 理事

2025年7月号

仲西 一真 理事

八木沢英樹 常務理事

(6) 2024年・2025年の会誌契約書を2023年11月1日付けで交わす。(手続き済み)

内容は前回理事会報告通り

また、ページの最適化も大まかなところは行っていただくこととなった。

7. 編集情報 (吉田)

(1) ホームページ

ア. Web サイト 掲載および更新 (会員用)

第30回CT関連情報研究会

第7回埼玉乳房画像研究会講習会

サーバーメンテナンスのお知らせ

第37回埼玉県診療放射線技師学術大会

- 2023年度 埼玉県診療放射線技師会第一支部 第1回勉強会
第114回埼玉CTTechnologySeminar開催のご案内
2023年度 第14回CT認定講習会
2023年度 第21回胸部認定講習会
第67回埼玉消化管撮影研究会
2023年度MRI基礎講習会～専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識～
第115回埼玉CTTechnologySeminar開催のご案内
- (2) Webサイト 掲載および更新 (一般用)
ア. サーバーメンテナンスのお知らせ
- (3) WP・PHPバージョンアップ
ア. 日時：2023年10月6日 (金) 24:00～
2023年10月7日 (土) 12:00
イ. 内容：本サーバーへの反映作業、エラーチェック、エラー修正
- (4) メールマガジン
ア. メールマガジン登録2件
イ. メールマガジンNo126・127配信
8. 学術 (中根)
- (1) 第8回Freedセミナーを開催
ア. 日程：2023年9月9日 (土)
イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所
ウ. 参加者：8人
- (2) 2023年度 第8回 DR計測セミナーを開催
ア. 日程：2023年10月7日 (土)
イ. 会場：埼玉県済生会川口総合病院
ウ. 7人
- (3) 第8回SART学術ナイトセミナーを開催
ア. 日程：2023年10月19日 (木)
イ. 会場：ZoomによるWeb開催
ウ. 35人
- (4) 企画中の講習会およびセミナー
・胸部認定講習会
・上部消化管認定講習会
- ・CT認定講習会
・乳腺セミナー
・救急撮影ケーススタディー
・MRI基礎講習会
- (5) 学術大会プログラム委員会を開催予定。
ア. 日程：2023年12月4日 (月)
イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所
- (6) 学術大会の進捗
ア. 大会講演
前さいたま赤十字病院 技師長 尾形智幸さまに打診
イ. 演題区分の変更
会員への周知のために、事前録画編集したロングムービーとショートムービーを用意
ロングムービーは、全会場で朝1番のセッションで使用
ショートムービーは、セッション間に使用。
ウ. 学生セッション
日本医療科学大学に、発表演題協力について連絡済
9. 学術 (滝口)
2024年「告示研修会」(埼玉県開催)
開催日：2月10日 (土)
申込開始：(統一講習会修了者先行申込) 12月16日(土)～/(それ以外の方) 12月23日(土)～
開催日：2月11日 (日・祝)
申込開始：(統一講習会修了者先行申込) 12月13日(水)～/(それ以外の方) 12月20日(水)～
開催日：2月12日 (月・振替)
申込開始：(統一講習会修了者先行申込) 12月13日(水)～/(それ以外の方) 12月20日(水)～
※詳細は、JART・SARTホームページ掲載します。
10. 学術 (近藤)
報告事項なし
11. 学術 (浅見)
報告事項なし
12. 公益 (佐々木)
報告事項なし

13. 公益（紀陸）
報告事項なし
14. 財務（肥沼）
（1）10月12日（木）旧理事・委員のメールアドレス削除のための連絡通知
（2）10月30日（月）旧理事・委員のメールアドレス削除
（3）今後の予定
新規理事登記を公益インフォメーションに登録を11月中旬に予定
15. 第一支部（佐藤）
（1）支部役員会
ア. 日時：2023年10月20日（金）19：00～
イ. 場所：Web
ウ. 内容：第1回第一支部勉強会
・メーカー講演：
アミン株式会社「新製品ziostationREVORASのご紹介」
明福 義昭氏
バイエル薬品株式会社「新たなCT用造影剤インジェクタCentargoの製品紹介」
大沼 秀樹氏
・一般演題：
CT「肝疾患の基礎と臨床」
済生会川口総合病院 保川 裕二
MRI「救急医療におけるMRI検査の基礎」
さいたま市立病院 石田 貴志
エ. 参加人数：104人
（2）今後の予定
支部勉強会
ア. 日程：2023年11月7日（火）
イ. 場所：浦和コミュニティセンター 第4集会室
ウ. 内容：理事、役員紹介
2024年2月に開催予定「第2回第一支部勉強会について」
16. 第二支部（大西）
報告事項なし
17. 第三支部（大友）
（1）第37回川越市健康まつり第3回実行委員会
18. 第四支部（大野）
（1）勉強会
ア. 日時：2023年9月28日（木）19：00～
イ. 場所：Web開催
ウ. 内容：メーカー講演「RF予備校～初めてのアブレーション～」
ディーブイエックス株式会社中日本第三営業部群馬営業所一課
大藤 泰彦氏
技師講演「アブレーション術前CT」
深谷赤十字病院 放射線科部
齋藤 幸夫
エ. 参加者：59人
（2）医療画像展「深谷福祉健康祭り」
ア. 日程：2023年10月29日（日）
イ. 場所：深谷ビッグタートル
ウ. 内容：スクリーン投影、被ばく相談
エ. 参加者：417人（骨密度測定）
（3）今後の予定
引き継ぎ会
日時：2023年12月22日（金）19：00～
19. 第五支部（矢崎）
（1）医用画像展
ア. 開催日：2023年10月22日（日）
越谷市民祭り内にて開催
会計報告などは、越谷市民祭り実行委員会の今年度の会計が終了次第報告致します。
20. 第六支部（仲西）
ア. 日程：2023年10月27日（金）
イ. 場所：川越市保健センター 3階研修室
ウ. 内容：執務用要領、リーフレット、ポスターについて

(1) 第2回役員会議

- ア. 日程：2023年9月12日（火）
- イ. 会場：上尾中央総合病院

(2) 今後の予定

- ア. 第2回定期講習会
 - 日程：2023年11月29日（水）
 - 会場：上尾中央総合病院
 - テーマ：救急撮影

第3. 審議・承認事項

1. 議案-35 乳腺セミナーを開催したい。

- (1) 起案者：浅見純一（学術）
- (2) 事 由：乳腺セミナーは毎年開催しており、会員のニーズも高いと思われます。昨年度は新型コロナウイルスの影響もありWeb開催としました。今年度は、新型コロナウイルスが5類になったため、会場型のグループ実習を企画致しました。内容に関しては、マンモグラフィの精度管理・読影・ポジショニングと幅広く行います。

ご審議のほどよろしくお願ひします。

- (3) 審議経過：第5回学術委員会（2023年10月17日（火））

- (4) 実施日：2024年2月18日（日）

資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

2. 議案-36 2024年埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新委託について

- (1) 起案者：清水 邦昭（編集・情報）
- (2) 事 由：当会ホームページの更新委託の契約が12月で満了となる。2022年の契約と同等条件で見積もりを出してもらった。2023年は十分な見積もり期間がなかったということで、特別に2022年と同額で委託契約をしていただいた。2024年は2023年と同額ではできないと当初から言われていた。結果は添付の見積もり通りとなっており、こちらの金額で承認を頂きたい。

- (3) 実施日：2024年1月1日（月・祝）

- (4) 審議経過：第2回常務理事会（承認）

第5回常務連絡会

資料を基に説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

3. 議案-37 新入会員の承認について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事 由：新入会員の承認
- (3) 審議経過：第5回常務連絡会

資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

会員の動向まとめ（2023年10月23日現在）

新入会	23人	2023年度累計	77人
再入会	1人	2023年度累計	4人
転入	2人	2023年度累計	7人
転出	0人	2023年度累計	7人
退会	5人	2023年度累計	6人
滞納退会・除籍	0人	2023年度累計	8人

※第6回理事会承認後、会員数：1,500人

4. 議案-38 「夢を見つける！リアル体験教室 あこがれの職業を体験しよう！」

主催：埼玉県・青少年育成埼玉県民会議 予算修正をお願いしたい。

- (1) 起案者：佐々木 健（公益）

- (2) 事 由：12月3日（日）に開催する「リアル体験プレミアム教室」の実施方法変更につき、予算を修正したため承認をお願いしたい。

- (3) 実施日：2023年12月3日（日）

資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数で承認された。

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	乳腺セミナー を開催したい	あり	2	1	承認	なし	理-35
2	2024年埼玉県診療放射線技師会ホームページの更新委託について	あり	3	1	承認	なし	理-36
3	新入会員の承認について	あり	0	0	承認	なし	理-37
4	「夢を見つける！リアル体験教室 あこがれの職業を体験しよう！」 予算修正	あり	0	0	承認	なし	理-38

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

2024年1月4日（木）

議事録署名人 富田 博信（押印略）
田中 宏（押印略）

2023年度 第7回理事会議事録 (抄)

日時：2024年1月4日 (木) 19:00~20:30

場所：Web開催 (Zoom)

出席者：会長：富田 博信

副会長：潮田 陽一、城處 洋輔

常務理事：今出 克利、八木沢英樹、

清水 邦昭、佐々木 健、

中根 淳、滝口 泰徳

理事：肥沼 武司、吉田 敦、

浅見 純一、紀陸 剛志、

佐藤 吉海、大友 正人、

大野 渉、矢崎 一郎、

仲西 一真

監事：田中 宏、浅野 克彦

総務委員：茂木 雅和

欠席者：理事：近藤 敦之、大西 圭一、

顧問：小川 清、鈴木 正人

3. 副会長 (城處)

報告事項なし

4. 総務 (今出)

(1) 第六支部第2回定期講習会の委嘱状の発送について

ア. 該当者3人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号5-26)

イ. 11月15日 (水) に発送した。

(2) リアル体験教室 (3DWS人体解剖学体験) の委嘱状の発送について

ア. 該当者4人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号5-28)

イ. 11月22日 (水) に発送した。

(3) 乳腺セミナーの委嘱状の発送について

ア. 該当者3人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号5-27)

イ. 12月1日 (金) に発送した。

(4) 放射線特別授業「3DWS人体解剖学体験」の委嘱状について

ア. 該当者6人に対して、委嘱状を作成した。(公印番号5-31)

イ. 12月18日 (月) に発送した。

(5) 2023年度第1回総務委員会を開催した。

ア. 日時：2023年12月15日 (金) 19:00~

イ. 場所：Zoomを利用したオンライン会議

ウ. 参加者：5人

エ. 添付資料：2023年度第1回総務委員会 議事録 (第7回理事会資料参照)

(6) 今度の会議・イベント予定

日程	イベント名	備考欄
2024/ 1/ 4 (木)	第7回理事会	
2024/ 2/ 1 (木)	第4回常務理事会	
2024/ 2/29 (木)	第7回常務連絡会	
2024/ 3/ 7 (木)	第8回理事会	

第1. 議事録作成、議事録署名人の選出について

議長：富田 博信

議事録署名人：富田 博信、田中 宏

議事録作成：八木沢英樹、茂木 雅和 (総務委員) と定めた。

第2. 報告および確認事項

1. 会長 (富田)

(1) 2024年1月1日 (月・祝) 能登半島地震について

ア. JARTが、現在、状況確認中である。

イ. DMATの派遣要請あり。

(2) JART関連事業の報告

ア. 各種ガイドラインが2024年2月中に発表される予定

(3) 2024年新春の集いについて

ア. 1月12日 (金) 開催予定、沢山の参加をお願いします。

2. 副会長 (潮田)

(1) 顧問税理士の月次監査を受けた。

ア. 日程：2023年12月30日 (土)

※インボイス制度について、相談を受けている。

(7) 2024年新春の集いについて

ア. 収支予算について

(ア) 3パターンを提示し、理事の意見を集めた。

a. バイキング料理+飲み放題

b. 料理人数分+飲み放題

- c. 料理人数分+飲料分
 審議の結果、賛成多数（全会一致）でb.が承認された。
- イ. 看板について
 (ア)「公益社団法人診療放射線技師会2024年新春の集い」に決定
- ウ. 開催マニュアルについて
- エ. 表彰者の登壇について
5. 総務（八木沢）
 報告事項なし
6. 編集情報（清水）
 (1) 会誌
 ア. 今回誌埼玉放射線 2024年1月275号
 (ア) 巻頭言：城處 洋輔（副会長）
 (イ) コラム：八木沢英樹（常務理事）
 滝口 泰徳（常務理事）
 (ウ) 内容：学術大会抄録集、技術解説、その他
 イ. 次回誌埼玉放射線 2024年5月276号
 (ア) 締め切り2024年4月1日（月）
 (イ) 巻頭言：中根 淳（常務理事）
 (ウ) コラム：肥沼 武司（理事）
 近藤 敦之（理事）
 (エ) 内容：総会資料、技術解説、その他
 (2) 委員会開催
 ア. 第1回編集情報委員会 2023年7月13日(木)
 Zoomにて
 (ア) 会誌ヒアリング
 (イ) 理事会報告
 イ. 第2回編集情報委員会 2023年8月23日
 (水) 技師会事務所にて
 (ア) 会誌契約について
 (イ) 巻頭言・コラムの順について
 ウ. 第3回編集情報委員会 2024年 開催予定
 (3) 会誌発行部数1580部
 (4) 巻頭言について
 ア. 委員会で検討した結果、下記の順番（HP、会誌の名簿順）で依頼することと決定した。
 2023年10月号
 潮田 陽一 副会長 済み
 2024年1月号
 城處 洋輔 副会長 済み
 2024年5月号
 中根 淳 常務理事
- 2024年7月号
 今出 克利 常務理事
 2024年10月号
 佐々木 健 常務理事
 2025年1月号
 清水 邦昭 常務理事
 2025年5月号
 富田 博信 会長
- (5) コラムについて
 ア. 委員会で検討した結果、下記の順番で2人ずつ依頼することと決定した。
 2024年1月号から実施。次回理事会で報告。
 2024年1月号
 八木沢英樹 常務理事
 滝口 泰徳 常務理事
 2024年5月号
 肥沼 武司 理事
 近藤 敦之 理事
 2024年7月号
 浅見 純一 理事
 吉田 敦 理事
 2024年10月号
 紀陸 剛志 理事
 佐藤 吉海 理事
 2025年1月号
 大西 圭一 理事
 大友 正人 理事
 2025年5月号
 大野 渉 理事
 矢崎 一郎 理事
 2025年7月号
 仲西 一真 理事
 八木沢英樹 常務理事
- (6) 2024年・2025年の会誌契約書
 ア. 2023年11月1日（水）付けで交わす。（手続き済み）
- (7) 2024年 HP更新委託契約
 ア. 2023年12月19日（火）付けで交わす。（手続き済み）
7. 編集情報（吉田）
 (1) ホームページ
 ア. Webサイト 掲載および更新（会員用）
 (ア) 告示研修（実技研修）開催のお知らせ

- (イ) 2024年『新春の集い』開催案内
 - (ウ) 2024年『新春の集い』開催案内正誤表
 - (エ) 2023年度 救急撮影ケーススタディー
 - (オ) 2023年度 第21回胸部認定試験
 - (カ) 2023年度 第14回CT認定試験
 - (キ) 2023年度 第21回上部消化管検査認定講習会
 - (ク) 2023年度 乳腺セミナー
 - (ケ) 第116回埼玉CTTechnologySeminar開催のご案内
 - (コ) 第四支部勉強会のお知らせ
 - (サ) 2023年度 第20回上部消化管検査認定試験
- (2) メールマガジン
- ア. メールマガジン登録1件
 - イ. メールマガジンNo128・129配信
8. 学術 (中根)
- (1) 2023年度 第14回CT認定講習会を開催
 - ア. 日程：2023年11月19日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - ウ. 受講者：7人
 - (2) 2023年度 第21回胸部認定講習会を開催
 - ア. 日程：2023年11月26日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - ウ. 受講者：18人
 - (3) 学術大会プログラム委員会を開催
 - ア. 日程：2023年12月4日 (月)
 - イ. 会場：埼玉県診療放射線技師会事務所
 - ウ. 演題申込数：43演題
 - エ. プログラムと実行委員名簿については、第7回理事会資料を参照
 - (4) 2023年度MRI基礎講習会～専門技術者認定試験から学ぶMRIの基本知識～を開催
 - ア. 日程：2023年12月16日 (土)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - ウ. 受講者：21人
 - (5) 2023年度救急撮影ケーススタディーを開催予定
 - ア. 日程：2024年1月13日 (土)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (6) 2023年度 第21回胸部認定試験を開催予定
 - ア. 日程：2024年1月14日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (7) 2023年度 第14回CT認定試験を開催予定
 - ア. 日程：2024年1月18日 (木)
- イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (8) 2023年度上部消化管検査認定講習会を開催予定
 - ア. 日程：2024年1月21日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (9) 2023年度 第20回上部消化管検査認定試験を開催予定
 - ア. 日程：2024年2月4日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (10) 2023年度乳腺セミナーを開催予定
 - ア. 日程：2024年2月18日 (日)
 - イ. 会場：ZoomによるWeb開催
 - (11) SART学術活動における施設からの画像使用許諾に関して
 - ア. 覚書を作成した。画像使用許諾に関しては、この第7回理事会資料を参照
 - (12) 第37回埼玉県診療放射線技師学術大会について
 - ア. 演題区分変更のお知らせについて
 - イ. ランチョンセミナーについて
 - ウ. Zoom配信について (大会講演とSTAT画像の2講演の予定)
 - エ. 実行委員名簿について
 - オ. 機器展示企業の募集について
9. 学術 (滝口)
- (1) 告示研修について
 - ア. 2024年2月開催の方はすでに埋まっている状況
 - (2) 救急撮影ケーススタディーについて
 - ア. 2024年1月13日 (土) 開催予定
10. 学術 (近藤)
- 報告事項なし
11. 学術 (浅見)
- 報告事項なし
12. 公益 (佐々木)
- (1) 被ばく相談件数報告
 - ア. 11月 2件
 - イ. 12月 1件
 - (2) 放射線特別授業
 - ア. 「3DWSを用いた人体解剖学体験」に浦和明の星女子中学高等学校から申し込みがあった。(2024年1月20日 (土) 予定)

- (3) 第2回公益委員会会議を開催
 ア. 日時：2023年11月20日(月) 19:00～21:30
 イ. 場所：SART事務所2階
 ウ. 参加者：議事録参照
- (4) リアル職業体験プレミアム教室事前準備を行った。
 ア. 日時：2023年11月30日(木) 19:00～22:00
 イ. 場所：SART事務所1階
 ウ. 参加者：佐々木、紀陸、石田、大河原
- (5) リアル職業体験プレミアム教室「3DWSを用いた人体解剖学体験」を開催。
 ア. 日時：2023年12月3日(日) 9:00～16:30
 イ. 場所：レイボックホール集会室10
 ウ. 参加者：46人
- (6) 浦和明の星女子中学校高等学校へ「3DWSを用いた人体解剖学体験」にて訪問。
 ア. 日程：2023年12月19日(火)
 イ. 参加者：佐々木、紀陸、嶋崎
13. 公益(紀陸)
- (1) リアル職業体験プレミアム教室「3DWSを用いた人体解剖学体験」開催報告
 ア. 小、中学生などにとっても好評であった。
 イ. 今後の診療放射線技師に関する広報として、とても有用であった。
14. 財務(肥沼)
- (1) 10月30日(月) 新規理事登記を公益インフォメーションに登録申請
 (2) 12月4日(月) 学術大会実行委員会出席
 (3) 12月5日(火) 一般演題採用通知を傳達
 (4) 12月5～7日(火・水・木) 一般演題抄録編集校正
15. 第一支部(佐藤)
 報告事項なし
16. 第二支部(大西)
 報告事項なし
17. 第三支部(大友)
- (1) 第三支部役員会
 ア. 日時：2023年11月20日(月) 19:00～
 イ. 場所：埼玉医科大学国際医療センター
 ウ. 参加人数：7人
- エ. 内容：川越市健康まつり、支部総会・勉強会について
- (2) 第37回川越市健康まつり
 ア. 日程：2023年12月17日(日)
 イ. 場所：ウエスタ川越
 ウ. 内容：医療画像展、医療被ばく相談、放射線画像クイズ
 エ. 来場者数：一般市民430人、団体従事者101人、職員執務者22人、合計553人 医療画像展116人
- (3) 第三支部定時総会・勉強会
 ア. 日時：2024年3月14日(木) 19:00～
 イ. 場所：ウエスタ川越
 ウ. 内容：定時総会・勉強会
18. 第四支部(大野)
- (1) 第四支部引き継ぎ会
 ア. 日時：2023年12月22日(金) 19:00～
 イ. 場所：熊谷総合病院
 ウ. 内容：役員引き継ぎ 2024年以降の会務打合せ
 エ. 参加者：8人
- (2) 第四支部勉強会
 ア. 日時：2024年1月18日(木) 19:00～
 イ. 場所：Web開催
 ウ. 内容：メーカー講演「CT造影の基礎と医療安全について」
 根元杏林堂 営業部 宇越 弘樹 氏
 技師講演「脳卒中と血管内治療について」
 東松山市立市民病院 放射線科
 早川 和也 氏
19. 第五支部(矢崎)
 報告事項なし
20. 第六支部(仲西)
- (1) 第二回支部役員会議
 ア. 場所：上尾中央総合病院12階会議室
 イ. 日時：2023年9月12日(火) 19:00～20:00
- (2) 第二回定期講習会
 ア. 場所：上尾中央総合病院臨床研修センター
 イ. 日時：2023年11月29日(水) 19:00～21:00
- (3) 第三回役員会議2024年1月16日(火)
- (4) 2023年度支部監査2024年1月23日(火)

(5) 2023年度支部総会第三回定期講習会日時未定

第3. 審議・承認事項

1. 議案-39 2024年度診療放射線技師のためのフレッシャーズセミナー（第25回SARTセミナー）の開催について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事由：本セミナーは新入会員を対象とし、日本診療放射線技師会と埼玉県診療放射線技師会との合同企画として、技師会活動の紹介および、日常業務に必要な基礎的知識や実習に加え、社会人として必要とされるマナーなどの習得を目的として開催している。2024年度の開催を企画したので審議願います。

- (3) 実施日：2024年5月26日（日）
- (4) 審議経過：第3回常務理事会（2023年12月7日（木））

資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数（全会一致）で承認された。

2. 議案-40 2024年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第13回定期総会の開催について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事由：2024年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第13回定期総会を開催したい。
- (3) 実施日：2024年6月9日（日）
- (4) 審議経過：第3回常務理事会（2023年12月7日（木））

資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数（全会一致）で承認された。

3. 議案-41 第38回以降の埼玉県診療放射線技師学術大会において一般演題の筆頭演者、座長、講師は、以下の条件を設けたい。

- ・当該年度中の会費を完納していること。
- ・日本診療放射線技師会もしくは埼玉県診療放射線技師会の会員資格を有すること。
- ・診療放射線技師免許未取得者の学生を除く。

- (1) 起案者：中根 淳
- (2) 事由：学術大会の財源は会費であるため。日本診療放射線技師会の学術大会も案件と同じ規程を設けているため。会員であることの付加価値と人材育成する機会を高めるため。
- (3) 審議経過：臨時学術委員会
資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数（全会一致）で承認された。

4. 議案-42 行田市市民フォーラム2024に参画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について

- (1) 起案者：大野 渉（第四支部）
- (2) 事由：技師会活動の一環として行田市市民フォーラムへ参画し、医療画像展を開催し市民と交流を図る。パネル展示とその説明、放射線医療の啓発活動、放射線検査の説明および医療被ばくの相談、骨密度測定など
- (3) 実施日：2024年3月17日（日）
資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数（全会一致）で承認された。

5. 議案-43 新入会員の承認について

- (1) 起案者：今出 克利（総務）
- (2) 事由：新入会員の承認
- (3) 審議経過：第5回常務連絡会（2023年12月7日（木））
資料を基に、説明があり、審議の結果、賛成多数（全会一致）で承認された。

会員の動向まとめ（2023年12月22日（金）現在）

新入会	13人	2023年度累計	90人
再入会	1人	2023年度累計	5人
転入	2人	2023年度累計	9人
転出	4人	2023年度累計	11人
退会	6人	2023年度累計	12人
滞納退会・除籍	0人	2023年度累計	8人

※第7回理事会承認後、会員数：1,506人

審議・承認事項まとめ

	タイトル	資料	意見	質問	審議結果	特記事項	議案書 No.
1	2024年度 診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー（第25回SARTセミナー）の開催について	あり	0	0	承認	なし	理-39
2	2024年度公益社団法人埼玉県診療放射線技師会第13回定期総会の開催について	あり	0	0	承認	なし	理-40
3	第38回以降の埼玉県診療放射線技師学会において一般演題の筆頭演者、座長、講師についての条件を設けたい。	あり	6	0	承認	なし	理-41
4	行田市市民フォーラム2024に参画し医療画像展の開催に際し、予算案の承認および骨密度測定装置レンタルの貸出について	あり	0	1	承認	なし	理-42
5	新入会員の承認について	あり	0	1	承認	なし	理-43

配信資料（メール配信を含む）

- (1) 総務
- (2) 学術
- (3) 公益
- (4) 財務
- (5) 編集・情報
- (6) 各支部
- (7) 議案書

本会議の議決を証明するために、議事録署名人において記名押印します。

2024年3月7日（木）

議事録署名人 富田 博信（押印略）
田中 宏（押印略）



役員名簿

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

2023・2024 年度役員名簿

役員名簿

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
会長	富田 博信	帝京大学	03-3964-1211	h-tomita@sart.jp
副会長	潮田 陽一	日本診療放射線技師会	03-4226-2211	y-ushioda@sart.jp
副会長	城處 洋輔	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
常務理事(学術)	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
常務理事(学術)	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
常務理事(総務)	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
常務理事(総務)	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
常務理事(公益)	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
常務理事(編集・情報)	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
理事(財務)	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
理事(学術)	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
理事(学術)	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
理事(編集・情報)	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
理事(公益)	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
第一支部理事	佐藤 吉海	さいたま市立病院	048-873-4111	yoshiomi-sato@sart.jp
第二支部理事	大西 圭一	所沢ハートセンター	04-2940-8611	k-onishi@sart.jp
第三支部理事	大友 正人	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masato-ohmoto@sart.jp
第四支部理事	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
第五支部理事	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
第六支部理事	仲西 一真	上尾中央総合病院	048-773-1111	kazuma-nakanishi@sart.jp

監事・顧問

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
監事	田中 宏	埼玉県立循環器・呼吸器病センター	048-536-9900	h-tanaka@sart.jp
監事	浅野 克彦	参議院議員秘書		katsuhiko-asano@sart.jp
顧問	小川 清			k-ogawa@sart.jp
顧問	鈴木 正人	埼玉県議会議員		m-suzuki@sart.jp
顧問税理士	増田 利治	税理士法人クレシェンド会計事務所	048-649-1386	

総務・財務委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	今出 克利	大宮医師会	048-663-5633	k-imade@sart.jp
副委員長	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp
副委員長	潮田 陽一	日本診療放射線技師会	03-4226-2211	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	佐藤 吉海	さいたま市立病院	048-873-4111	yoshiomi-sato@sart.jp
委員	大西 圭一	所沢ハートセンター	04-2940-8611	k-onishi@sart.jp
委員	大友 正人	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-4111	masato-ohmoto@sart.jp
委員	大野 涉	羽生総合病院	048-562-3000	wataru-ohno@sart.jp
委員	矢崎 一郎	春日部市立医療センター	048-735-1261	i-yazaki@sart.jp
委員	仲西 一真	上尾中央総合病院	048-773-1111	kazuma-nakanishi@sart.jp
委員	佐々木 剛	埼玉医科大学病院	049-276-1264	tsuyoshi-sasaki@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	岡田 尚也	さいたま赤十字病院	048-852-1111	naoya-okada@sart.jp
委員	福田 栞	さいたま市立病院	048-873-4111	shiori-fukuda@sart.jp
委員	戸澤 茜	埼玉県診療放射線技師会 事務局	048-664-2728	akane-tozawa@sart.jp

役員名簿

学術委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	中根 淳	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	j-nakane@sart.jp
副委員長	滝口 泰徳	JCHO 船橋中央病院	047-433-2111	y-takiguchi@sart.jp
副委員長	近藤 敦之	埼玉医科大学病院	049-276-1264	a-kondo@sart.jp
副委員長	浅見 純一	行田中央総合病院	048-553-2000	jyunichi-asami@sart.jp
委員	城處 洋輔	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	y-kidokoro@sart.jp
委員	亀山 枝里	熊谷総合病院	048-521-0065	eri-kameyama@sart.jp
委員	妹尾 大樹	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-7702	taiki-senoo@sart.jp
委員	吉澤 孝郁	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	takafumi-yoshizawa@sart.jp
委員	戸澤 僚太	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	ryouta-tozawa@sart.jp
委員	新島 正美	熊谷生協病院	04-2995-3100	masami-nijima@sart.jp
委員	池野 裕太	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuuta-ikeno@sart.jp
委員	堀切 直也	埼玉医科大学病院	049-276-1264	naoya-horikiri@sart.jp
委員	茂木 雅和	上尾中央総合病院	048-773-1111	masakazu-motegi@sart.jp
委員	廣田 絵美	小川赤十字病院	0493-72-2333	emi-hirota@sart.jp
委員	小川 智久	上尾中央総合病院	048-773-1111	tomohisa-ogawa@sart.jp
委員	白石 健吾	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	kengo-shiraishi@sart.jp
委員	野々浦成美	さいたま市立病院	048-873-4111	narumi-nonoura@sart.jp

編集・情報委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	清水 邦昭	深谷赤十字病院	048-571-1511	k-shimizu@sart.jp
副委員長	吉田 敦	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	a-yoshida@sart.jp
委員	宮崎 雄二	北里大学メディカルセンター	048-593-1212	y-miyazaki@sart.jp
委員	潮田 陽一	日本診療放射線技師会	03-4226-2211	y-ushioda@sart.jp
委員	肥沼 武司	国立障害者リハビリテーションセンター	04-2995-3100	t-koinuma@sart.jp
委員	大友 哲也	埼玉医科大学総合医療センター	049-228-3400	t-otomo@sart.jp
委員	渡部 伸樹	さいたま赤十字病院	048-852-1111	nobuki-watanabe@sart.jp
委員	堀越 隆之	大宮シテイクリニック	048-645-1256	takayuki-horikoshi@sart.jp
委員	八木沢英樹	JCHO 埼玉メディカルセンター	048-832-4951	h-yagisawa@sart.jp

公益委員会

役職名	氏名	勤務先	勤務先電話	技師会メール
委員長	佐々木 健	上尾中央総合病院	048-773-1111	t-sasaki@sart.jp
副委員長	紀陸 剛志	埼玉医科大学病院	049-276-1264	takashi-kiroku@sart.jp
委員	志藤 正和	埼玉県済生会川口総合病院	048-253-1551	m-shito@sart.jp
委員	内海 将人	埼玉県済生会加須病院	0480-52-3611	m-uchiumi@sart.jp
委員	石田 仁子	白岡中央総合病院	0480-93-0661	kimiko-ishida@sart.jp
委員	大河原 侑司	さいたま赤十字病院	048-852-1111	yuji-okawara@sart.jp
委員	佐藤 克哉	埼玉県立小児医療センター	048-601-2200	katsuya-sato@sart.jp
委員	宮崎 千晶	埼玉医科大学国際医療センター	042-984-0089	chiaki-miyazaki@sart.jp
委員	嶋崎 恭介	上尾中央総合病院	048-773-1111	kyousuke-shimasaki@sart.jp
委員	芳賀 陽菜	上尾中央総合病院	048-773-1111	haruna-haga@sart.jp
委員	森田 希生	JCHO 東京山手メディカルセンター	03-3364-0251	nozomi-morita@sart.jp

正 会 員 入 会 申 込 書

年 月 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長殿

私は貴会の目的に賛同し、下記により入会を申し込みます。

フリガナ		性 別 男・女	生	年	月	日
氏 名			西暦	年	月	日

<p>1. 2. それぞれに○をつけご回答ください</p> <p>1. 今回の入会は [<input type="checkbox"/>新入会 <input type="checkbox"/>再入会 <input type="checkbox"/>転入]</p> <p>2. <input type="checkbox"/>日本診療放射線技師会&埼玉県診療放射線技師会へ入会 <input type="checkbox"/>埼玉県診療放射線技師会のみ入会</p>	転入前の 所属技師会	
---	---------------	--

フリガナ	TEL	—	—
勤務先名			
フリガナ	〒		
勤務先住所			
フリガナ	〒	TEL	— —
自宅住所			
E-mail (携帯不可)			

正会員入会申し込み

会誌送付先	① 勤務先 ② 自宅	所属支部（地区）
-------	-----------------	----------

診療放射線 技師免許	国家試験	第 回 合格
	登録	第 号 年 月 日 登録

免許取得の 学歴	入学年月日	西暦 年 月
	卒業年月日	西暦 年 月
	学校	

関連分野の 最終学歴	学位	ある なし
	学位記番号	
	授与年月	
	授与機関	

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
 〒331-0812 さいたま市北区宮原町 2-51-39
 TEL 048-664-2728
 FAX 048-664-2733

退会届

年 月 日

会員番号	日本診療放射線技師会
	埼玉県診療放射線技師会
会員名	印
退会理由	
退会希望日	年 月 日
会費納入状況	年度分まで納入済み

注 1) 規程により、埼玉県診療放射線技師会を退会すると日本診療放射線技師会も同時に退会となります。

注 2) 滞納している会費がある場合にはお支払いください。

※重要 注 3) 退会時には必ず会員番号をご記入ください。
 記載がない場合、退会処理に時間がかかり、希望日に間に合わない場合があります。

決算処理

埼放技	
日放技	

FAX申し込み

会員異動届

ファックス送信票

下記の通り送信致しますので、よろしくお願ひ致します。

受信者	FAX番号：048-664-2733 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
送信者	氏名 _____
	施設名 _____
	〒 _____ 施設住所 _____

* 郵送の場合
〒331-0812 さいたま市北区宮原町2丁目51番地39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話：048-664-2728

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会員登録変更届

年 月 日

ふりがな 届出会員名		支部名	支部
技師会番号			

①転出者は正確にご記入ください			
転出先	() 県へ転出	技師会費を () 年度まで納入	
変更項目	<input type="checkbox"/> 印	②変更した項目をご記入ください	
	ふりがな 自宅住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 勤務先名		
	ふりがな 勤務先住所	〒 - - TEL - -	
	ふりがな 改 姓		
	支部変更	第 () 支部を第 () 支部に	
連絡先変更			

年間スケジュール

2024年度

埼玉県診療放射線技師会
日本診療放射線技師会など

年間スケジュール表

年間スケジュール

2024年度 (5-7) 予定									
5月		埼玉放技	日放技など	6月		埼玉放技	日放技など	7月	
1	水			1	土			1	月
2	木			2	日			2	火
3	金			3	月			3	水
4	土			4	火			4	木
5	日			5	水			5	金
6	月			6	木			6	土
7	火			7	金			7	日
8	水			8	土			8	月
9	木			9	日	公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会 第13回定期総会		9	火
10	金			10	月			10	水
11	土			11	火			11	木
12	日			12	水			12	金
13	月			13	木			13	土
14	火			14	金			14	日
15	水			15	土			15	月
16	木			16	日			16	火
17	金			17	月			17	水
18	土			18	火			18	木
19	日			19	水			19	金
20	月			20	木			20	土
21	火			21	金			21	日
22	水			22	土			22	月
23	木			23	日			23	火
24	金			24	月			24	水
25	土			25	火			25	木
26	日	診療放射線技師のための プレッシャーズセミナー		26	水			26	金
27	月			27	木			27	土
28	火			28	金			28	日
29	水			29	土			29	月
30	木			30	日			30	火
31	金							31	水

2024年度 (8-10) 予定									
8月		埼玉放技	日放技など	9月		埼玉放技	日放技など	10月	
1	木			1	日			1	火
2	金			2	月			2	水
3	土			3	火			3	木
4	日			4	水			4	金
5	月			5	木			5	土
6	火			6	金			6	日
7	水			7	土			7	月
8	木			8	日			8	火
9	金			9	月			9	水
10	土			10	火			10	木
11	日			11	水			11	金
12	月			12	木			12	土
13	火			13	金			13	日
14	水			14	土			14	月
15	木			15	日			15	火
16	金			16	月			16	水
17	土			17	火			17	木
18	日			18	水			18	金
19	月			19	木			19	土
20	火			20	金			20	日
21	水			21	土			21	月
22	木			22	日			22	火
23	金			23	月			23	水
24	土			24	火			24	木
25	日			25	水			25	金
26	月			26	木			26	土
27	火			27	金			27	日
28	水			28	土			28	月
29	木			29	日			29	火
30	金			30	月			30	水
31	土							31	木



編集後記

体型維持のために始めた筋力トレーニングは3年目を迎えました。

週1回のトレーニングでしたが、猫背や肩こりが解消されました。

同僚から体型の変化に称賛の言葉を頂き、気を良くしていましたが、長男長女と本気で走るとすぐに息が切れ体力の衰えを感じていました。

外観は整い始めましたが、体力不足を痛感し、今年から2軒目のジムへ通うことにしました。

数年前、複数のジムをハシゴする人の話を聞き、そんなのにのめり込むだろうかと疑問に思っていました。現在、先人と同じ道を歩み始めています。

皆さまもぜひ筋力トレーニングを初めてみてはいかがでしょうか。

(ぼんちゃむ)

表紙の
解説

「鯉のぼりと菜の花」

写真提供

北里大学メディカルセンター 放射線部
大島 佳奈



事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

電話 048-664-2728

F A X 048-664-2733

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務員 戸澤 茜

勤務時間 9:00~12:00

13:00~15:00

電話問い合わせは平日の月・水・金のみ

埼玉放射線 第276号

印刷 2024年5月20日

発行日 2024年5月31日

発行所 〒331-0812
さいたま市北区宮原町2-51-39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

発行人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 富田 博信
編集代表 清水 邦昭

編集委員 吉田 敦
宮崎 雄二
潮田 陽一
肥沼 武司
大友 哲也
渡部 伸樹
堀越 隆之
八木沢英樹

印刷 〒130-0023
東京都墨田区立川2丁目11番7号
株式会社キタジマ
電話 03 (3635) 4510



公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2丁目51番39

TEL 048-664-2728

FAX 048-664-2733

HP <https://www.sart.jp> E-mail sart@beige.ocn.ne.jp

領布価格：1,000円（会誌購読料は会費に含まれる）